

# デイジー ピクチャーワールド

## マスターブック



## デジピクチャーワールドの基本操作

スケッチブックの準備

### 新規キャンパスを作る

白紙画像を開く  
難易度 ★ …P.23



絵を描くための白紙のキャンパスを作ります。用紙の大きさやdpiの設定を行います。

多彩な質感

### いろいろなペンで絵を描く

ペン(クレヨン・絵の具・色鉛筆)  
難易度 ★ …P.23

Daisy

絵の具やクレヨンなど身近な画材で絵を描くことができます。画材は本物と同じ質感を再現しているのので、様々な絵を描くことができます。

一気に色ぬり

### ぬり絵をしよう

流し込み  
難易度 ★ …P.28



色を選んで、ワンクリックでぬり絵をすることが出来ます。

ワンタッチ!

### 写真の取り込み

カメラから取り込み  
難易度 ★ …P.30



デジタルカメラからパソコンに写真を取り込む方法を説明します。撮りためた写真を選んで取り込むことができます。

好みの色に設定

### 写真の補正

明るさ/コントラスト  
難易度 ★ …P.30



教室や体育館などで写真を撮影したとき想像していた色味と変わってしまった場合に、正しい色味を再現することができます。

挿絵に最適

### 切りぬき

切りぬき  
難易度 ★ …P.32



写真を楕円形や星型など様々な形に切り抜くことができます。「ぼかし」効果で写真のイメージを変えることができます。

手軽に角度調整

### 写真の回転

回転  
難易度 ★ …P.32



縦横が反対になってしまった写真を正しい角度にすることができます。

写真を軽く

### 【サイズ】でファイル容量を調整

サイズ  
難易度 ★ …P.33



高画素で撮影した写真用途に合ったサイズの画像に変換することができます。フラッシュメモリーの空き容量が増えます。

写真に特殊効果

### フィルタ効果を掛ける

フィルタ  
難易度 ★ …P.34



画像をモノクロ写真にしたりセピア調の写真にすることができます。フィルタの種類は26種類!

個人情報保護

### 部分的にフィルタ効果を掛ける

ペン先フィルタ(ぼかし)  
難易度 ★ …P.35



児童の顔写真や名札が写っている写真は、部分的にぼかしのフィルタを掛けることで生徒の個人情報や防犯上の問題を防ぐことができます。

コメントを  
入れよう

## 文字の入力

文字  
難易度 ★ …P.36



写真に文字を入力することができます。コメントを付けて写真でいろいろな表現をすることができます。

写真を  
楽しく

## かざりで写真を デコレーション

かざり(スタンプ・フレーム)  
難易度 ★ …P.38



プリクラ感覚で写真にスタンプやフレームを付けることができます。多彩な素材で写真を個性的に飾ることができます。

斬新な  
コラージュ

## 写真の合成術

合成  
難易度 ★ …P.39



2枚の写真を合成して1枚の写真にすることができます。被写体だけをきれいに切り抜くニューロ機能で高品質な合成写真を作れます。

用途を  
選ぶ

## 様々な保存方法

保存  
難易度 ★ …P.40



基本的な保存方法から学校でもっとも使われている保存形式(拡張子)まで、詳しく説明します。用途に合わせた使い方をマスターできます。

きれいに  
出力

## 用紙に合わせて印刷

印刷  
難易度 ★ …P.40



用紙のタイプに合わせて印刷設定を変え、写真をきれいに印刷する方法を説明します。

## 授業編

描いた絵が  
漫画に

## パラパラ漫画を作ろう

アニメーション  
難易度 ★★ …P.43



植物の育成の様子を撮影した写真を GIF アニメーションにしてプレゼンテーションソフトに貼り付け発表用の資料を作成できます。

夢の  
動画作成

## 静止画から動画を作ろう

アニメーション  
難易度 ★★★ …P.48



定点カメラで撮影した写真を繋げて動画を作ります。キーフレーム法を活用するので滑らかな動画を作成できます。



# 学校での活用術

みんなに  
伝える

## 校外学習の発表資料を作ろう

ポスター  
難易度 ★★ …P.52



撮影した写真で学校を紹介するパンフレットを作成します。写真を活用することで学校生活の雰囲気を覚えてもらう人に伝えることができます。

今日は  
何日？

## 壁掛けカレンダーを作ろう

カレンダー  
難易度 ★ …P.57



写真を使った予定入りカレンダーを作ることができます。写真で季節を演出することができます。

気持ちを  
郵送

## ポストカードを作ろう

はがき  
難易度 ★★ …P.61



はがきのテンプレートを使用して、ポストカードを作成します。加工した写真を活用することでオリジナルのグリーティングカードを作ることができます。

自分を  
伝える

## 自己紹介名刺を作ろう

名刺  
難易度 ★★ …P.64



顔写真入りの名刺を作成することができます。趣味や部活などの情報を掲載すると自己紹介名刺を簡単に作ることができます。

世界へ  
写真を発信

## ホームページの写真を作ろう

サイズ 明るさ/コントラスト 保存  
難易度 ★ …P.67



写真の明るさや解像度の調整を行い、ホームページに最適の写真を作ります。ホームページに合った保存方法を紹介します。

思い出を  
一冊に

## ミニ卒業アルバムを作ろう

ミニアルバム  
難易度 ★★ …P.71



学校生活の写真を1冊の小さなミニアルバムにします。一言コメントを添える思い出のミニアルバムになります。

記録を  
発表

## 写真でプレゼン資料を作ろう

文字 スライドショー  
難易度 ★ …P.75



写真に文字を入力してスライドショーにすることができ、プレゼンの資料として活用することができます。

合成写真を  
作る

## みんなの写真を1つにしよう

合成  
難易度 ★ …P.80



合成する被写体の写真を背景となる写真に合成して、1つの作品を作り出します。現実の世界とデジタルの世界が融合した作品が完成します。

デザインを  
試す

## CDジャケットを作ろう

切りぬき かざり フィルタ  
難易度 ★★ …P.84



CDのジャケットを作成します。思い出の写真に文字やフィルタ効果を掛けることで世界で1枚のオリジナルCDジャケットが完成します。

作って  
遊ぼう

## さいころを作ろう

さいころ  
難易度 ★ …P.90



6枚の画像を使ってさいころを作ることができます。図工で作った作品でさいころを作成することができます。

## 校務編

3ステップ  
で!

一括解像度変換で  
パソコンの負担を軽減

一括解像度変換  
難易度★ …P.95



パソコンやサーバに保存している画像を一括でリサイズすることができます。空き容量を増やして記憶媒体を有効活用することができます。

素早く  
補正

一括自動補正で  
パソコンの負担を軽減

一括自動補正  
難易度★ …P.98

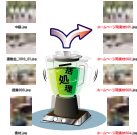


複数の写真を一括で最適な明るさに補正することができますので、修学旅行や体験学習などのたくさんの写真を一気に補正できます。

ファイル  
整理術

一括ファイル名変換で  
データを管理

一括ファイル名変換  
難易度★ …P.100



写真データに連番でファイル名を付けることができますので、データの管理をスムーズに行うことができます。

あっ!  
写っちゃった

写真の不要部分を削除

コピー修正  
難易度★ …P.102

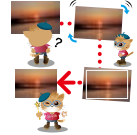


写真に写り込んでしまった不要なものを、周辺の色を使用して消すことができます。

曲がっちゃ  
った

傾いた写真の修正

回転 切り始め  
難易度★ …P.104



傾いて撮影された写真を正しい角度に戻すことができます。

真っ暗…

逆光写真を明るく

逆光補正  
難易度★ …P.106

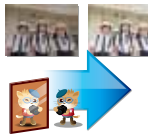


太陽を背に撮影して被写体が暗くなってしまった写真を適切な明るさに補正することができます。

写真が  
ぼんやり

明るさ・コントラストの調整

明るさ/コントラスト  
難易度★ …P.108



明るく写りすぎてぼんやりしてしまった写真や暗く沈んでしまった写真を、くっきりきれいに補正することができます。

写真を  
きれいに

ホワイトバランスの調整

ホワイトバランス  
難易度★ …P.110



体育館の水銀灯や蛍光灯の光で色が変わってしまった写真を補正することができます。

学校の様子を  
伝えよう

学級通信用の写真作成

明るさ/コントラスト フィルタ(鏡面) 切り始め  
難易度★ …P.112



写真を切り取り形を変えます。ドット絵になる網点フィルタを掛けることで、輪転機やコピー機で印刷を行ったときに、きれいに出力することができます。

説明に  
写真を使おう

校内・教室用掲示物の作成

ポスター  
難易度★★ …P.116



児童の学校生活の記録を紹介する掲示物を作成できます。教室用や校内用として用途はたくさんあります。

更新率  
UP!

## ホームページ掲載用の写真作成

ホウインバランス 原簿度変換 ペン先フィルタ  
難易度 ★★ …P.120



個人情報保護を考えた写真を手軽に作成できます。用途に合わせた写真サイズに変換もできるので、ホームページの更新用素材が簡単に用意できます。

写真を  
きれいに  
印刷

## 輪転機・コピー機向け写真加工

網点  
難易度 ★ …P.123



色数の多い写真をドットにする網点フィルタは、輪転機やコピー機で印刷を行ったときに、写真が濃くきれいに印刷することができます。

オリジナルを  
作成

## 校務用の名刺作成

名刺  
難易度 ★ …P.125



先生用の名刺を作成できます。顔写真や校章を入れて作成することで、保護者やお客様に渡す名刺としても使うことができます。

記録を  
並べる

## 修学旅行の写真を インデックス掲示

インデックス  
難易度 ★ …P.129



修学旅行や校外学習などの写真を1枚の用紙にまとめて印刷することができます。CD-ROMと一緒に保管することでデータの整理もできます。

生徒の  
ために

## 卒業アルバム CD 作成

スライドショー  
難易度 ★ …P.133



児童の学校生活の記録をCD-ROMにすることができます。デジピクチャーワールドが無くても再生できるので、どこでも見ることができます。

免許更新に  
便利

## 証明写真の写真作成

サイズ指定  
難易度 ★ …P.136

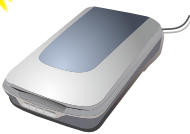


教員免許更新用の写真や予めサイズが指定されている写真を用意するときに活用できます。写真のサイズをミリ単位で調整して印刷することができます。

スキャナーと  
参考書が  
融合

## スキャナーを活用して資料作り

スキャナーから取り込む 図解 切り抜き コピー修正  
難易度 ★ …P.139



教科書や参考書を必要な部分だけスキャナーで読み取り、教材を作成することができます。授業の副教材として活用することもできます。

プリント作成に  
便利

## 簡単『白地図』作成

フィルタ(白地図)  
難易度 ★ …P.143



地図の画像データにフィルタの白地図効果を掛けるだけで簡単に白地図を作成することができます。テスト問題やプリント用に活用できます。



## 本書で使用している画像について

CD-ROMにはサンプル写真が収録されています。

### 画像データの使用方法 (Windows7 の場合)

- 1 インストール CD-ROM をパソコンにセットします。
- 2 [自動再生] ウィンドウが表示されたら、[フォルダを開いてファイルを表示] を選択します。
- 3 [Sample] フォルダをダブルクリックしてご利用になるデータを開きます。



画像データはお使いのパソコンにコピーしてからご利用ください。  
ソフトの性質上 CD-ROM から直に開きますと、画像が開けない場合があります。

### 画像データの著作権について

- 教育機関の利用に限り、自由に加工・修正ができます。
- 営利目的における使用・複製等は認めておりません。素材著作者は素材の利用において生じた、または生じなかったことによる、いかなる責任を負わないものとします。

デザイナー

# ピクチャーワールド

完全 マスターガイド

★ 授業のヒントを紹介しているので、  
指導計画が立てやすい

★ 操作手順書になっているので、  
そのまま授業で活用できる

★ 校務でも活用できるので、  
先生方のICT活用能力が向上



# まえがき

現在、学校現場ではコンピューターや電子黒板などのハードウェアが急速に整備されております。さらにカメラに関しては、デジタルカメラやビデオカメラ、カメラ付き携帯電話など世間一般にも教育現場でもかなり普及しており、先生方（児童も含め）が写真を撮る機会やニーズが増えてきております。写真を撮る機会が増えるとなると授業や校務で使うための画像編集や画像管理の必要性も高まりますが、今までの画像処理ソフトは『わかりにくい、難しい』といったイメージをお持ちの方も多くいらっしゃるのではないのでしょうか。

「デジピークチャーワールド」は、そんな今までの画像処理ソフトのイメージを大きく変える『わかりやすい・使いやすい・楽しい』ソフトとなっております。それはこのソフトの特徴である視覚要素に優れたUI（ユーザーインターフェース）や斬新な画面アクション、抜群の操作性、学校に合わせた数多くのテンプレートの搭載など小学校の教育現場のために作られた小学校専門の画像処理ソフトウェアであるからです。

「デジピークチャーワールド」を学習・授業での活用例をあげると、情報教育での教材としての活用や様々な授業での提示物の作成ツールとしての活用、学習に対する児童の興味・関心を高めるための活用などが挙げられます。また校務での活用としては、校務の処理時間の短縮や学校ホームページの充実による保護者や地域住民との相互理解が深まることなどが期待できます。

本書は「デジピークチャーワールド」の基本操作から実際の学校での活用シーンに沿った画像処理や作品制作の方法などをわかりやすく紹介しております。ソフトを存分に活用頂くことで教育の情報化が推進されることに繋がり、教育の質が向上して児童の学力向上や豊かな心を育むことへの助けになれば幸いです。

本書は著作権法上の保護を受けています。本書の一部あるいは全部について、株式会社市川ソフトラボラトリーから文書による許諾を受けずに、無断で複製・複写・転載・引用することは禁じられています。本書に記載されている商品名は一般に各社の商標です。本書内で解説しているプログラムおよび画面は開発中の為、製品と仕様異なる場合があります。落丁、乱丁はお取替えいたします。その場合、お手数ですが市川ソフトラボラトリー教育事業部までご連絡ください。

# デイジー ピクチャーワールド

## 第1章 デイジーピクチャーワールドの基礎



- ・デイジーピクチャーワールドとは ..... 18
- ・デイジーピクチャーワールドの起動と終了 ..... 19
- ・ツールバーについて ..... 20
- ・授業のはじめ方 ..... 20

## 第2章 デイジーピクチャーワールドの基本操作



### 1. ペイントの基本操作 I

- ・新規キャンバスを作る ..... 23
- ・ペンの種類を選ぶ ..... 23
- ・絵を描く ..... 25

### 2. ペイントの基本操作 II

- ・イラストを開く ..... 28
- ・塗りつぶしツールで色を塗る ..... 28

### 3. 画像編集モードの基本操作

- ・写真をパソコンに取り込む ..... 30
- ・写真を補正する ..... 30
- ・切りぬきで写真を切り抜く ..... 32
- ・写真の回転 ..... 32
- ・[サイズ]でファイル容量を調整 ..... 33
- ・フィルタ効果を掛ける ..... 34
- ・部分的にフィルタ効果を掛ける ..... 35
- ・文字の入力 ..... 36
- ・ペイントで絵を描く ..... 37
- ・かざりで写真をデコレーション ..... 38
- ・写真の合成術 ..... 39
- ・様々な保存方法 ..... 40
- ・用紙に合わせて印刷 ..... 40



## 第3章 授業編



### 1. 学習指導要領準拠

- ・生物育成の記録を GIF アニメーションにしよう ..... 43
- ・生物育成の記録を AVI アニメーションにしよう ..... 48
- ・校外学習の発表資料を作ろう ..... 52
- ・壁掛けカレンダーを作ろう ..... 57
- ・写真を使ってポストカードを作ろう ..... 61

### 2. 授業カリキュラム案

- ・自己紹介名刺を作ろう ..... 64
- ・ホームページ写真を作ろう ..... 67
- ・ミニ卒業アルバムを作ろう ..... 71
- ・写真でプレゼン資料を作ろう ..... 75
- ・みんなの写真を1つにしよう ..... 80
- ・自由なCDジャケットを作ろう ..... 84
- ・さいころを作ろう ..... 90



# デイジー ピクチャーワールド

## 第4章 校務編



### 1. 一括加工処理ツール

- ・一括解像度変換でパソコンの負荷を軽減 ..... 95
- ・一括自動補正で写真を適切な明るさに補正 ..... 98
- ・一括ファイル名変換でデータを整理 ..... 100

### 4. 授業教材の製作

- ・スキャナーで読み取った資料で教材作り..... 139
- ・幅広く活用できる白地図作成..... 143
- ・電子黒板で活用できる補足資料作り..... 145

### 2. 写真の加工

- ・写真の不要部分の削除 ..... 102
- ・傾いた写真の修正 ..... 104
- ・逆光で撮影された写真を補正 ..... 106
- ・明るさ/コントラストの調整 ..... 108
- ・ホワイトバランスを調整 ..... 110

### 3. 校務資料の制作

- ・学級通信・おたより用の写真作成 ..... 112
- ・校内・教室用掲示物の作成 ..... 116
- ・ホームページ・ブログ掲載用の写真作成 ..... 120
- ・輪転機・コピー機向け写真加工 ..... 123
- ・校務用の名刺作成 ..... 125
- ・修学旅行の写真をインデックス掲示 ..... 129
- ・卒業アルバムCDを作成 ..... 133
- ・証明書の写真作成 ..... 136



## 第5章 知識編



### 1. 写真撮影のコツ!

- ・『オートモード』で難しい設定はカメラに任せよう.. 149
- ・正しい構え方を覚えよう ..... 150
- ・ブレてしまった場合の比較写真 ..... 150
- ・シャッターの『半押し』でピントを合わせよう .... 151
- ・構図(フレーミング)を意識しよう ..... 152
- ・三分割法実践 比較作例 ..... 152

### 2. デジタル画像の解説

- ・デジタル画像の仕組み ..... 153
- ・画素って何? ..... 153
- ・DPIって何? ..... 154
- ・解像度変換とは ..... 154
- ・用途別解像度一覧表 ..... 154
- ・保存形式一覧表 ..... 155

### 3. ツール解説

- ・ペンの種類 ..... 156
- ・補正の種類 ..... 156
- ・フィルタの種類 ..... 157
- ・スタンプの種類 ..... 159
- ・ころころスタンプの種類 ..... 161
- ・フレームの種類 ..... 163

### 4. 作品の組み立て方

- ・ミニアルバムの組み立て方 ..... 165
- ・さいころの組み立て方 ..... 166



デイジー  
ピクチャーワールドを知ろう

# 第1章

## デイジーピクチャーワールドの 基礎

デイジーピクチャーワールドは、学校向けに作られた完全学校向けの画像処理ソフトウェアです。画像編集・作品・総合印刷・一括処理の4つの画像処理から成り立っており、授業や校務に合わせてご利用いただくことができます。

授業では画像編集と作品を活用することで画像編集の基礎からマルチメディア作品などを作成することができます。

校務においては画像編集と一括処理などを活用することで、校務のICT化を行うことができます。

児童や先生が直感的に操作できるように、操作方法も非常にわかりやすく作られています。

## デイジーピクチャーワールドの起動と終了

### デイジーピクチャーワールドの起動

- 1 [スタート] メニューから [デイジーピクチャーワールド] を選択します。



- 2 下記ウィンドウが表示され、デイジーピクチャーワールドが起動します。



#### Attention

起動中はウィンドウ操作はしないでください。

### デイジーピクチャーワールドの終了

- 1 メニューバーの [ファイル] から [終了] を選択します。
- 2 [デイジーピクチャーワールド] ウィンドウが表示されます。



- 3 [はい] を選択します。デイジーピクチャーワールドが終了します。



#### Attention

作成中のデータを保存していない場合は、[はい] を選択しますと [名前を付けて保存] ウィンドウが表示されるので保存の操作を行ってください。



# ツールバーについて

## 〔画像編集〕のツールバー



ツールバーのボタン名 / 機能

|  |                                    |  |                                       |  |                                     |
|--|------------------------------------|--|---------------------------------------|--|-------------------------------------|
|  | <b>開く</b><br>画像データをキャンバスへ開きます。     |  | <b>保存</b><br>ファイル名を付けてデータを新たに保存します。   |  | <b>印刷</b><br>開いている画像を印刷します。         |
|  | <b>戻る</b><br>行った作業を1つ戻します。         |  | <b>進む</b><br>戻した作業を1つ進めます。            |  | <b>切りぬき</b><br>選択した範囲を切り抜きます。       |
|  | <b>回転</b><br>画像を回転します。             |  | <b>サイズ</b><br>ピクセル数を減らしファイル容量を小さくします。 |  | <b>補正</b><br>画像の明るさやコントラストなどを調整します。 |
|  | <b>フィルタ</b><br>画像へ特殊効果をかけます。       |  | <b>文字</b><br>画像に文字を入力します。             |  | <b>ペン</b><br>豊富なペンで絵を描きます。          |
|  | <b>かざり</b><br>スタンプやフレームなどで写真を飾ります。 |  | <b>合成</b><br>2種類の画像を合成します。            |  | <b>メニューへ</b><br>スタートアップスクリーンへ戻ります。  |

### Point

マウスポインタをボタンに合わせると、ボタンが大きくなるので、授業で生徒にボタンを説明しやすいです。



## 授業のはじめ方

デイジーピクチャーワールドを起動すると、スタートアップスクリーンが表示します。ここから授業や校務に合った画像処理へ進んでいきます。ここではウィンドウの流れを説明します。

### 画像編集

補正や切りぬき、文字入力など画像処理の基本を学習できます。



### スタートアップスクリーン



### 作品

ミニアルバムやポスターなどの作品を作成できます。



### Point

マウスポインタをボタンに合わせると、それぞれのモードの説明がウィンドウの中央に表示されます。



### 総合印刷

インデックス形式やサイズを指定した印刷などができます。  
※先生用のみ選択可。



### 一括処理

一括で解像度変換や補正、ファイル名を変更できます。  
※先生用のみ選択可。



# 第2章

デジピクチャーワールドの

# 基本操作



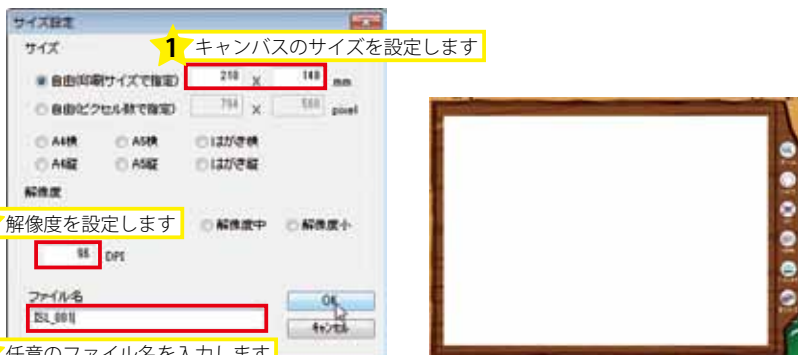
# 1. ペイントの基本操作①

第2章  
ペイントの基本操作①



## 新規キャンバスを作る

- 1 メニューバーの[ファイル]から[新規]-[白紙ファイルを作る]を選択します。



### Attention

授業で絵を描く場合は A4 サイズの 96dpi くらいの設定が理想です。

## ペンの種類を選ぶ

- 1 ツールバーから[ペン]を選択します。
- 2 コントロールの[ペンの種類]を選択します。



### Attention

各ペンの設定方法は P.24 に記載しています。

ペン



選択した色で描画ができるノーマルなペンです。カラーパレットから色を選択してキャンバスにドラッグすることで絵が描けます。

絵の具



2種類以上の色をパレットで混色することができ、筆の質感で絵を描くことができます。混色する範囲によって色の濃度を調整することができます。

クレヨン



選択した色でクレヨンの質感を持った描画ができるペンです。カラーパレットから色を選択してキャンバスにドラッグすることで絵が描けます。

蛍光ペン



選択した色で蛍光ペンの質感を持った描画ができるペンです。カラーパレットから色を選択してキャンバスにドラッグすることで絵が描けます。

金ぞくペン



金属とガラスの合わせて16種類の質感を描画できるペンです。カラーパレットからタイプを選択してキャンバスにドラッグすることで絵が描けます。

ふち取りペン



ペンの軸の色と縁の色を2色選択して描画ができる縁取りペンです。カラーパレットから色を2色選択してキャンバスにドラッグすることで絵が描けます。

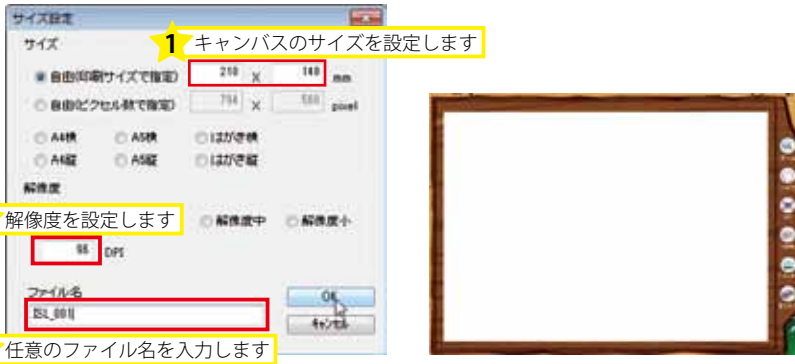
虹のペン



描画のスタートの色を選択することで7色の描画ができる虹色ペンです。カラーパレットからスタートの色を選択してキャンバスにドラッグすることで絵が描けます。  
※グレースケールカラーを選択すると虹色に描画することはできません。

## 絵を描く

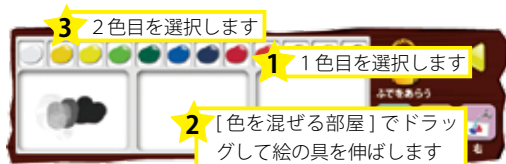
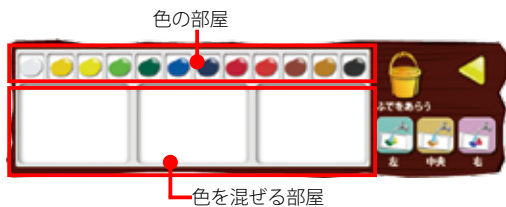
- 1 メニューバーの[ファイル]から[新規]-[白紙ファイルを作る]を選択します。



- 2 コントロールの[ペンの種類]を選択します。



- 3 カラー設定をクリックします。

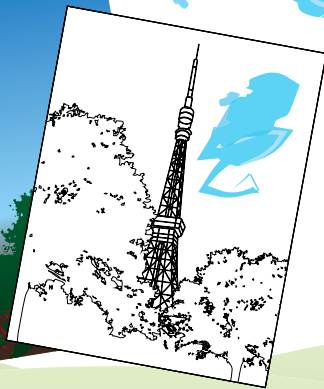
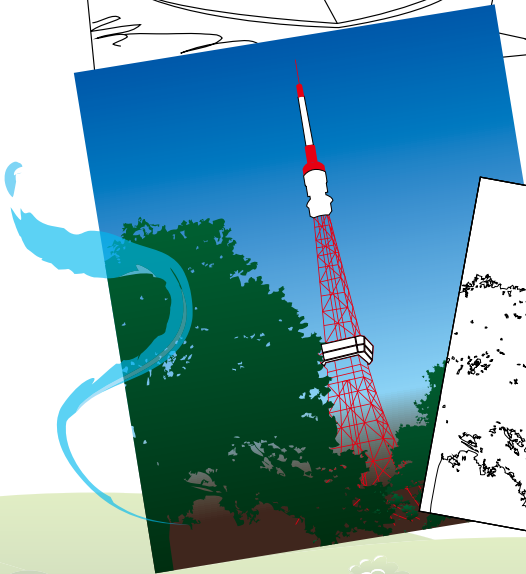


- 4 [色を混ぜる部屋]で1色目と混ぜるようにドラッグします  
ラッグして絵の具を伸ばします

- 4 キャンバスにドラッグして絵を描きます。



## 2. ペイントの基本操作②

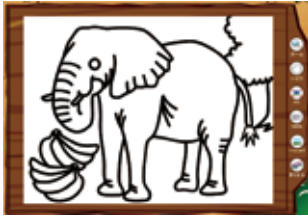


## イラストを開く

1 ツールバーから「開く」を選択します。



2 キャンバスに選択したイラストが開きます。



## 塗りつぶしツールで色を塗る

1 ツールバーから「ペン」を選択します。



2 コントロールの「流し込み」を選択します。

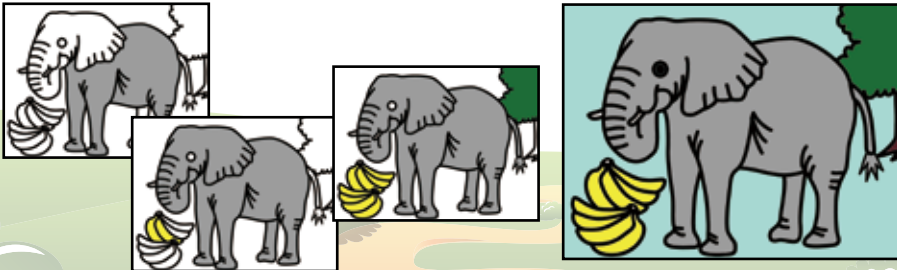


「流し込み」をクリックします



3 色の「カラーパレット」から任意の色を選択します。

4 キャンバス上で任意の場所をクリックすると、枠線内の塗りつぶしができます。

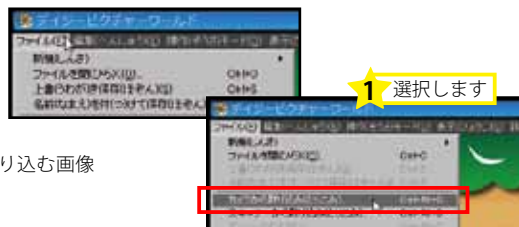


### 3. 画像編集モードの基本操作



## 写真をパソコンに取り込む

- 1 メニューバーの[ファイル]から[カメラから取り込み]を選択します。
- 2 [カメラから取り込み]ウインドウが表示されるので、取り込む画像を選択し[取込開始]ボタンを選択クリックします。



### Attention

一部のデジタルカメラは[カメラから取り込み]に対応しておりません。その場合は、エクスプローラーからパソコンへ取り込んでください。

### ■ 解像度について

詳しい解説は P.154 をご覧ください。

## 写真を補正する

- 1 ツールバーから[補正]を選択します。
- 2 [補正セクション]ウインドウに切り替わります。



ここでは [明るさ/コントラスト] の操作方を2種類紹介します。

### ギャラリー補正

9つの補正パターンが表示され、目で見て補正効果を選べる補正方法です。

- 3 コントロールメニューの [ギャラリー] から [明るさ] を選択します。  
※ここでは、例として [明るさ] を説明しています。



キャンパスの画像に、ギャラリー補正で選択した効果が反映されます。



### マニュアル補正

自分でパラメータを設定して、好みの補正効果の画像を作ることができる補正方法です。  
ここでは [明るさ/コントラスト] に搭載されている2つの操作方法と補正効果を説明します。

#### 明るさ



補正前



補正後

画像全体の明るさを設定します。教室や体育館などで写真を撮ると、暗く写ってしまうことがあります。そういった写真を正しい明るさに補正することができます。

#### コントラスト



補正前



補正後

画像の黒い部分から白い部分までの比率を設定します。日中に校庭で写真を撮ると、ぼやけた写真になってしまうことがあります。コントラストを調整することで滑らかなトーンの写真にすることができます。

- 4 補正値が確定したら [OK] を選択します。  
設定した補正値が元画像に反映します。



## 切りぬきで写真を切り抜く

- 1 ツールバーから[切りぬき]を選択します。



1 [切りぬき]を選択します

- 2 [領域選択]から[型]を選択し、[OK]をクリックします。



設定した形に切り抜かれます。

### Attention

選択した型が写真の上に表示され、切り抜かれる部分だけ原色で表示されます。



## 写真の回転

- 1 ツールバーから[回転]を選択します。



1 [回転]を選択します

- 2 [プリセット]から回転したい方向のボタンを選択し、[OK]をクリックします。



調整前



画像が設定した角度に変わります。

## [サイズ]でファイル容量を調整

### サイズ指定

- 1 ツールバーから[サイズ]を選択します。

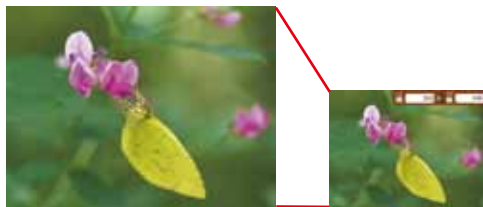


- 1 [サイズ]を選択します

- 2 [サイズ指定]から任意のサイズを選択し、[OK]をクリックします。



- 3 [サイズ]を選択します  
学校でよく使われている画像サイズが表示されます。



調整前 (1024 × 768)

調整後 (320 × 240)

※ [横] × [縦] に上記で設定した値が反映します。

### マニュアル指定

- 1 ツールバーから[サイズ]を選択します。

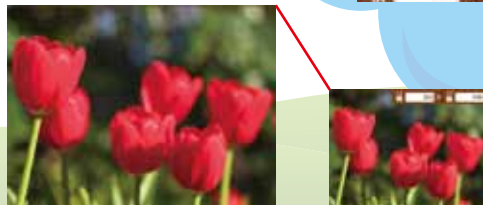


- 1 [サイズ]を選択します

- 2 エディットコントロールにキーボードで任意の値を入力し、[OK] をクリックします。



- 3 [OK]を選択します



調整前 (1024 × 768)

調整後 (320 × 240)

### Attention

[縦横比を固定]がONの場合、[横][縦]のいずれかの値を入力すると、もう片方の値を写真の比率に合わせて算出され、自動で入力されます。



## フィルタ効果を掛ける

- 1 ツールバーから [フィルタ] を選択します。



- 2 [フィルタ選択] ウィンドウに切り替わります。



- 1 任意のフィルタを選択します



コントロールが表示され、選択したフィルタ効果が掛かります。

- 3 パラメータを設定して効果を決定します。

フィルタ効果を設定する方法が2種類あります。

### 例. クロスフォーカス

#### ギャラリー

[個数] をクリックするとギャラリーウィンドウが表示します。

- 1 [個数] をクリックします



- 2 任意の効果を選擇します

#### マニュアル

スライダーを調整することで、フィルタ効果を細かく設定することができます。



- 3 スライダーまたは矢印ボタンをクリックして値を決定します

- 4 [OK] をクリックすると効果が反映されます。

## 部分的にフィルタ効果を掛ける

## 例. ぼかし

- ① ツールバーから [フィルタ] を選択します。



- ② [フィルタ選択] ウィンドウに切り替わります。

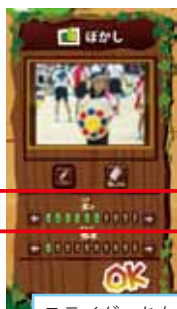


1 任意のペン先フィルタを選択します



選択したフィルタ効果がコントロールのプレビューに表示されます。

- ③ 描画をするペンの [太さ] を設定します。



スライダーを右へスライドすると効果の範囲が大きくなり、左へスライドすると小さくなります。



任意の部分をドラッグすると効果が反映します。

- ④ [OK] ボタンをクリックすると、フィルタ効果が確定します。  
※ [OK] ボタンは [ぼかし] フィルタのみに搭載しているボタンです。

**Attention**

効果が弱い場合は、[OK] ボタンを選択し、再度設定すると効果が強くなります。

# 文字の入力

1 ツールバーから [文字] を選択します。



1 キャンバスの任意の場所をクリックします



2 カーソルが点滅します

2 キーボードで文字を入力します。



## フォント

フォントを設定します。エディットに表示されるフォントがキャンバスに反映されます。

## サイズ

文字の倍率を設定します。

## 形状

[正体][斜体]を設定します。

## 色

文字の色を設定します。



## 向き

[ヨコ書き][タテ書き]を設定します。

## 太さ

[太さ]を設定できます。

## 位置

入力文字のテキスト内での位置を調整します。

## 削除

入力した文字テキストを削除します。

## ペイントで絵を描く

- 1 ツールバーから[ペン]を選択します。



- 1 キャンバスにカーソルを合わせてドラッグすると絵が描けます。



- 2 [消しゴム]ツールを選択し、任意の場所をドラッグすると描画した部分が消えます。

- 2 ペンの太さを調整します。



スライダーを右へスライドするとペン先が太くなり、左へスライドするとペン先が細くなります。

- 3 [領域選択] をクリックします。



- 1 キャンバスに選択した選択枠が表示されます

- 2 [描画] ボタンをクリックします



選択枠に合わせてルーラー描画ができます。

### ペンの種類

詳しい解説は P.187 をご覧ください。

## かざりで写真をデコレーション



[かざり] ボタンをクリックし、[スタンプ][ころころスタンプ][フレーム]から好きな装飾を選択します。

### 素材について

詳しい解説は P.159 をご覧ください。

### 共通操作

#### カテゴリ



さまざまな素材がカテゴリ別に分かれて搭載されており、分類されたカテゴリを選択することで、サムネイルから素材が選びやすくなります。

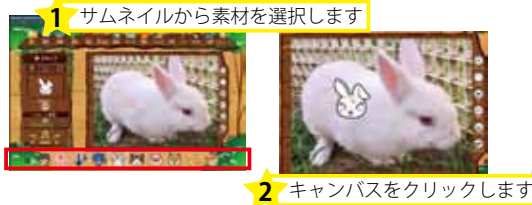
#### 濃度 (スタンプ・ころころスタンプのみ)



スライダーを右へスライドすると素材の濃度なり、左へスライドすると素材の濃度が薄くなります。

### スタンプ

画像にワンクリックで多彩なスタンプを押すことができます。デコレーション系のスタンプや学校行事のスタンプなど、画像にアクセントを加えてより楽しい画像編集を行うことができます。



### Attention

サムネイルとは…親指の爪ほどの大きさの写真を表す言葉で、本来の画像を縮小した画像のことです。

### ころころスタンプ

画像にドラッグをするだけで4種類のイラストが楽しめるころころスタンプを押すことができます。動物や植物、学校でおなじみの道具をモチーフにした素材を搭載しており、学級通信や校外学習の写真などを引き立てることができます。



### フレーム

画像に芸術分野からデコレーション系までの幅広いフレーム素材を付けることができます。集合写真にフレームを付けたり、生徒の作品に額縁を付けたり、さまざまな活用方法があります。



## 写真の合成術

- 1 ツールバーから[合成]を選択します。



- 2 選択した画像が表示されます



- 1 [開く]から被写体の画像を選択します

- 2 マウスのカーソルを背景画像(右側のキャンバス)に合わせます。



- 2 カーソルを動かすと[O]が連動して動きます

- 3 被写体画像(左側のキャンバス)を見ながら被写体のやや内側をドラッグすると、背景画像(右側のキャンバス)にペンで描いたように合成できます。

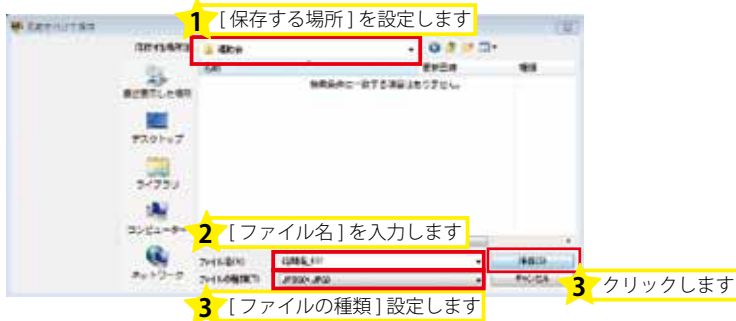


### Point

[ペン/消しゴム]の感度を上げることで、色の境界線認識が高まり、細かい部分をきれいに合成できます。

## 様々な保存方法

1 ツールバーから [保存] を選択します。



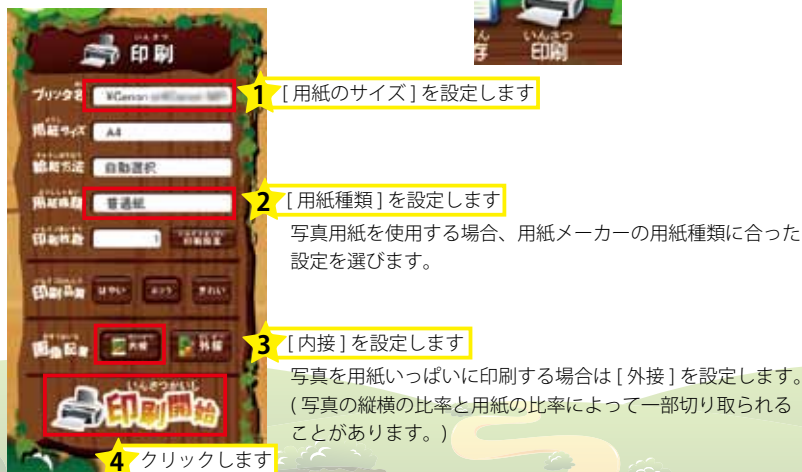
### 保存形式について

詳しい解説は P.155 をご覧ください。

- JPEG(\*.JPG)** 学校で一番使われている保存形式で圧縮しても画像の劣化が少ない。
- BMP(\*.BMP)** Windows 標準の保存形式で無圧縮の状態でも保存できる。
- GIF(\*.GIF)** Web ページや背景を白地の背景を透明にして保存できる。
- PNG(\*.PNG)** Web ページに用いられ圧縮率が高い。
- TIF(\*.TIF)** 無圧縮で保存ができるので高画質に保存することができる。

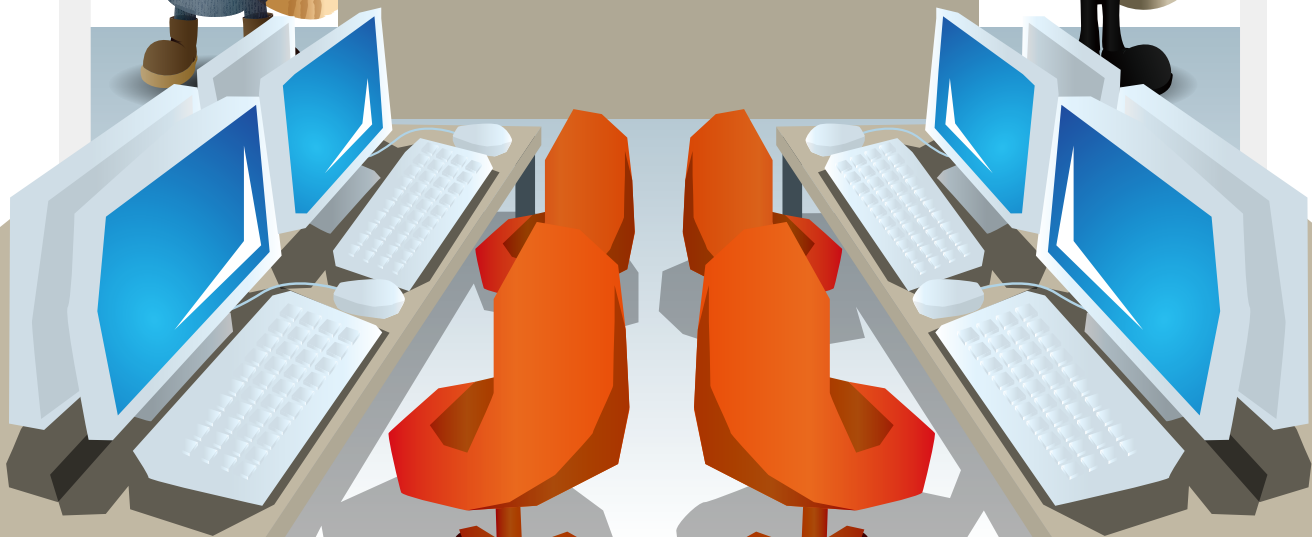
## 用紙に合わせて印刷

1 ツールバーから [印刷] を選択します。



# 第3章

# 授業編



# 1. 学習指導要領準拠



本項目は図画工作科の学習指導要領に準拠した内容となっており、学習目標の達成や授業効果を上げることを目的とし構成されました。

授業に不可欠な[導入][展開][まとめ]が明確になっているため授業の構成を組みやすくなっております。

児童が生物育成で捉えた記録を発表するアニメーションの作成、学校の外との交流を深めるためのパンフレット作成やポストカード作成など、表現と発表のためのさまざまな素材を幅広く作成することができます。

操作性が非常に簡単なので操作方法に迷って授業の進行が遅れることもなく、前の単元の復習をする時間も十分に取れるので授業のねらいを児童がそのまま実現することができます。

授業のタイプとしては、実践型と発表型が考えられます。

# 2. 授業カリキュラム案



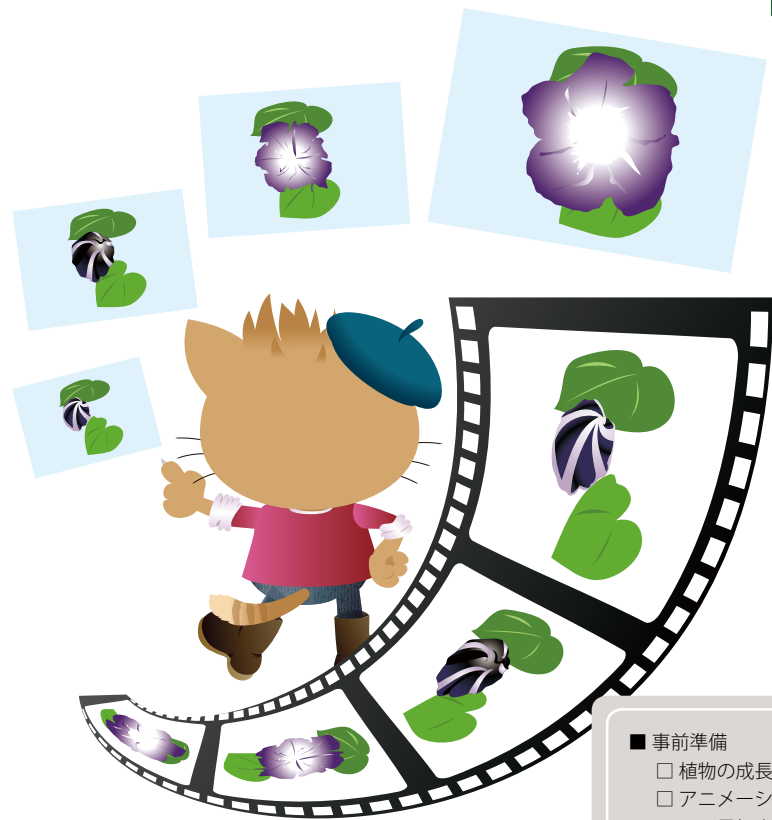
調べ学習や発表用のツールとして活用することができ、教科を跨いで画像処理を行うことができます。

学習項目のポイントを押さえることで操作説明をする時間も5分程度で終わり、検討や制作に多くの時間を使うことができます。画像ファイルの特徴を理解した上での画像編集、学校生活の思い出の作品をまとめた集大成のアルバム作成、文章ソフトでも活用できる画像の作成など、基本的な知識と技術を習得することができます。

授業のタイプは児童が作品の構成を自身で作りに上げる実践型と調べ学習の結果をまとめる発表型の2種類が考えられます。

# 生物育成の記録を GIFアニメーションにしよう

▶▶▶ 植物の成長を観察



## ■ 事前準備

- 植物の成長を撮影した写真
- アニメーションの構成図
- 電子黒板またはプロジェクター（発表用）

## 実践の詳細

### ■ 実践内容

前授業で植物のまたは生物の育成状態を、定点カメラで撮影します。花の開花の場合は5分ごとにシャッターを切ると開花の過程をカメラに収めることができます。アニメーション機能でフレーム（コマ）を並べてGIFアニメーションを作成し、プレゼンテーションソフトに貼り付けます。

生物育成の総合的な発表の資料として活用することができます。

### ■ 授業の流れ〔案〕

画像の仕組み

構図を考える

実践

まとめ

## 作品モードから [アニメーション] を選択しよう

- 1 作品メニューから [アニメーション] を選択します。



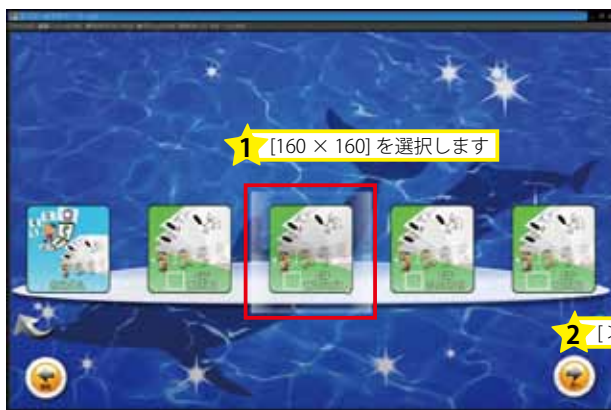
1 [作品] を選択します



2 [アニメーション] を選択します

## アニメーションのサイズを設定しよう

- 1 解像度を設定します。任意の解像度をサムネイルから選択して [次へ] をクリックします。



1 [160 × 160] を選択します

2 [次へ] をクリックします

### Point

画像の解像度に合わせてアニメーションのサイズを設定するときれいな映像ができます。

### ■ 解像度について

詳しい解説は P.154 をご覧ください。



キャンバス

アニメーションコントロール

サムネイル

# 1フレーム目を作ろう

1 ツールバーから「画像」を選択して、画像を取り込みます。



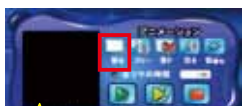
キャンバスに選択した画像が取り込まれます。



### Point

3フレーム目以降の作成も上記と同じ操作方法で行います。

2 コントロールの「新規」を選択します。



1 [新規]をクリックします  
フレームが新規で作成されます

1の手順で画像を挿入します。



2 2フレーム目が作成されます

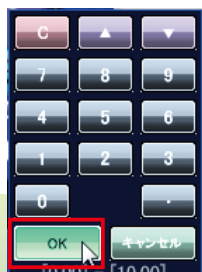
# フレーム間の時間を設定しよう

1 フレームとフレームの間の表示時間の設定を行います。  
アニメーションコントロールの「全フレームの時間設定」を設定します。



※ 初期設定ではチェックマークは付いた状態になっています。

## 共通操作



1 テンキーでクリックして入力します

2 入力が終わったら [OK] をクリックします

### Attention

数値入力はテンキーでのクリック入力とキーボード入力での入力が可能です。

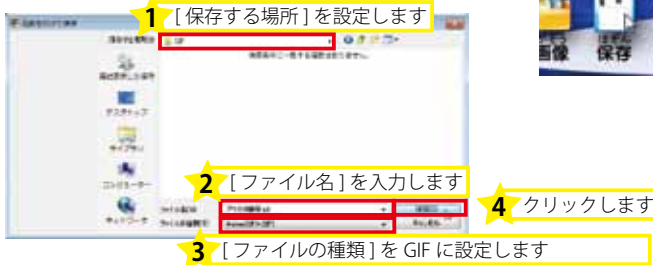
## プレビューを見てみよう

1 再生ボタンを押してプレビューを確認します。



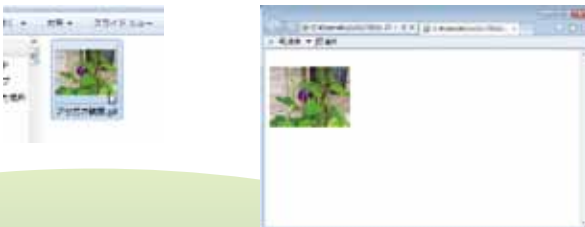
## GIF 形式で保存しよう

1 ツールバーから [保存] を選択します。



### Internet Explorer で再生する場合

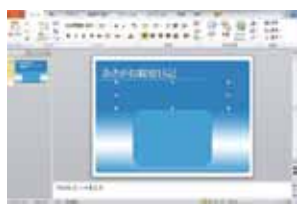
保存したデータをダブルクリックします。  
Internet Explorer が起動し、データが再生されます。



※ テンプレートで設定したアニメーションサイズによって表示の大きさが変わります。

# 活用してみよう

1 発表用資料のレイアウトを作成します。



2 レイアウトに合わせてプレゼンテーションソフトで文書を入力します。

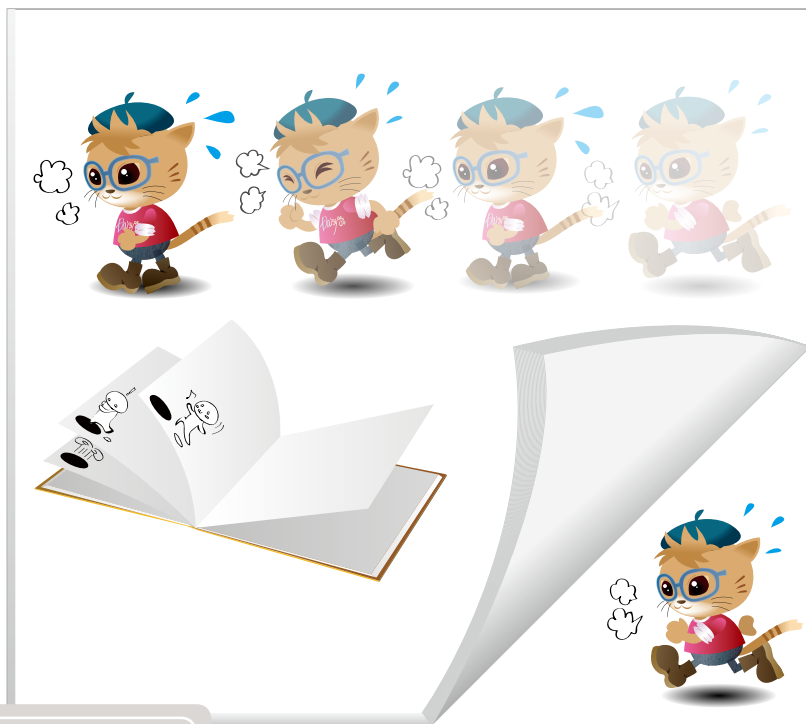


3 作成したアニメーション GIF を挿入します。



# 生物育成の記録を AVIアニメーションにしよう

▶▶▶ 植物の成長を観察



## ■ 事前準備

- 植物の成長を撮影した写真
- アニメーションの構成図
- 電子黒板またはプロジェクター（発表用）

## 実践の詳細

## ■ 実践内容

前頁で使用した定点カメラの画像データから動画を作成します。ここでは、フレームとフレームの間を1秒間に30枚自動生成しており、滑らかできれいな動画を作ることができます。映像ができるまでの仕組みを理解することができます。

生物育成の総合的な発表の資料としての活用または[動画]ができるまでの流れを学習することができます。

## ■ 授業の流れ [案]

映像の仕組み

構成を考える

実践

まとめ

## 作品モードから【アニメーション】を選択しよう

1 作品メニューから【アニメーション】を選択します。



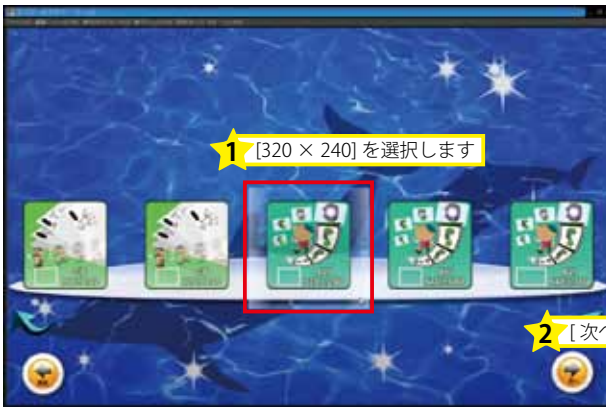
1 【作品】を選択します



2 【アニメーション】を選択します

## アニメーションのサイズを設定しよう

1 解像度を設定します。任意の解像度をサムネイルから選択して【次へ】をクリックします。



1 [320 × 240] を選択します

2 【次へ】をクリックします

### Point

画像の解像度に合わせてアニメーションのサイズを設定するときれいな映像ができます。

### ■ 解像度について

詳しい解説は P.154 をご覧ください。



サムネイル

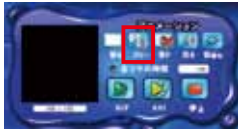
# 1フレーム目を作ろう

- 1 ツールバーから [画像] を選択して、画像を取り込みます。



# フレーム間の時間を設定しよう

- 1 アニメーションコントロールの [コピー] をクリックします。



1フレーム目がコピーされて2フレーム目ができあがります。

- 2 [画像]コントロールの [画像差替] を選択します。



- 3 [ファイルを開く] ウィンドウから2フレーム目に使用する画像を選択してキャンバスに取り込みます。



キャンバスに選択した画像が取り込まれます。

- 4 3フレーム目以降の作成も上記と同じ操作方法で行います。

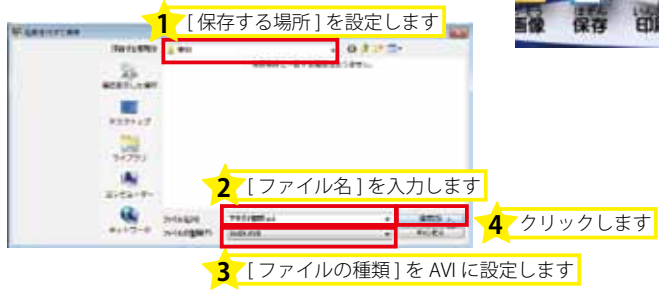
## プレビューをしてみよう

① 再生ボタンを押してプレビューを確認します。



## AVI 形式で保存しよう

① ツールバーから [保存] を選択します。



### Windows Media Player で再生する場合

保存したデータをダブルクリックします。  
Windows Media Player が起動し、データが再生されます。



※ テンプレートで設定したアニメーションサイズによって表示の大きさが変わります。

**アニメーションの圧縮について**  
詳しい解説は P.253 をご覧ください。

# 校外学習の発表資料を作ろう

## 第3章

## 学習指導要領準拠

## 校外学習の発表資料を作ろう

▶▶▶ 調査結果を伝えよう



### ■ 事前準備

- 校外学習の写真（写真でもイラストでも可）
- まとめた資料
- プリンター

### 実践の詳細

#### ■ 実践内容

校外学習の前に調査先の調べ学習を行い地域の情報をまとめます。そして、実際に地域とふれあって得たことをメモに取ったり、写真に残すなど、学校でまとめる素材を準備します。その後、発表用の資料作成に入ります。その地域の伝統や趣のある写真を吟味し、メモをまとめて資料のレイアウトを組みます。項目ごとに分け発表する順番と見やすさを考えた下書きを基に作業に入ります。強調したい内容は、写真や文字を大きくするなど発表を見る方の立場にもなり、工夫して作成します。完成したら電子黒板で投影、または大きく印刷をして発表用の資料として活用します。

#### ■ 授業の流れ〔案〕

調査学習

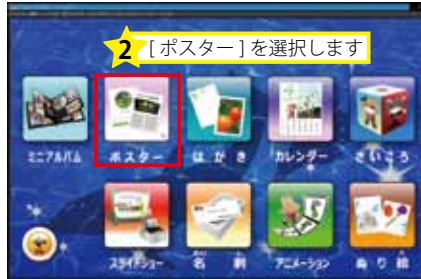
体験学習

まとめ

発表

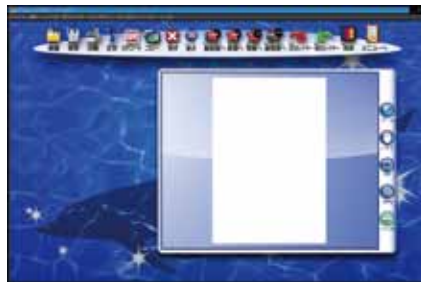
## 作品モードから「ポスター」を選択しよう

- 1 作品メニューから「ポスター」を選択します。



## ポスターのレイアウトや写真の枚数を決めよう

- 1 写真を配置する場所と枚数を設定します。任意のレイアウトをサムネイルから選択して「次へ」をクリックします。



## 画像を入力しよう

- 1 ツールバーから「画像」を選択して、画像を取り込みます。



※ 画像を複数選択して「開く」を選択すると、選択した枚数の画像をキャンバスへ取り込むことができます。

## 画像の大きさと位置を調整しよう

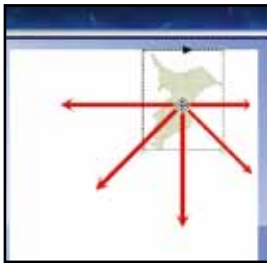
- ① 大きさを変える画像をクリックし、選択状態（画像の周りに緑色の点線が表示されている状態）にします。



- ② 四隅の [□] にカーソルを合わせ外側に向かってドラッグします。



- ③ 画像の中央にカーソルを合わせドラッグし画像を移動します。



## 2枚目の画像を入力しよう

- ① ツールバーから [画像] を選択して、画像を取り込みます。



## 写真の濃度を変えよう

- 1 濃度を変える画像をクリックして選択します。
- 2 コントロールの[濃度]から[←]を選択します。



左側へスライドすると濃度が薄くなり、右へスライドすると濃度が濃くなります。



## 文字を入力しよう

- 1 ツールバーから[文字]を選択します。コントロールが切り替わり、キャンバスに[文字列を入力してください]と表示されます。
- 2 文字の設定を行います。



- 1 文字入力枠内の文字を削除してから文字を入力します
- 2 フォントを選択します

- 3 文字の種類を選択します

- 4 文字の効果を選択します



文字の入力や効果が直接キャンバスに反映します。

## 画像を切り抜こう

- 1 切り抜く画像をクリックして選択します。
- 2 コントロールの[切り抜き]から[楕円]を選択します。



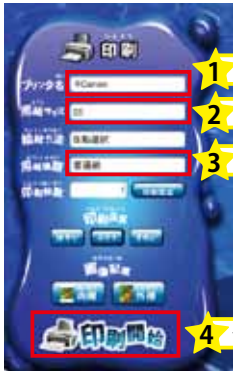
1 [楕円]を選択します



2 画像が楕円形に切り抜かれます

## 印刷をしよう

- 1 ツールバーから[印刷]を選択します。
- 2 印刷の設定を行います。



1 プリンターの種類を設定します

2 用紙のサイズを設定します

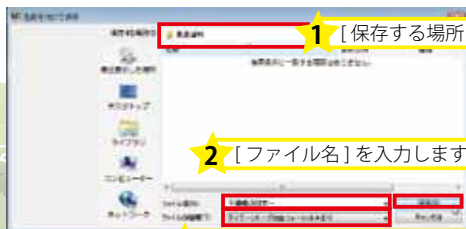
3 用紙の種類を選択します

4 クリックすると印刷が開始します



## 独自形式で保存しよう

- 1 ツールバーから[保存]を選択します。



1 [保存する場所]を設定します

2 [ファイル名]を入力します

4 クリックします

3 [ファイルの種類]を\*.ILYに設定します

# 壁掛けカレンダーを作ろう



▶▶▶ スケジュールを管理しよう



- 事前準備
  - 作成月の自分の予定表
  - カレンダーに使う写真データ
  - プリンター
- 本書の素材を使う場合
  -  **CD-ROM**
  - [sample]-[photo]

## 実践の詳細

### ■ 実践内容

春夏秋冬から作りたい季節を選び、季節に合う写真を用意します。スケジュールを入力できるので、これから先の学校生活で活用できるカレンダーを作成することができます。見やすいレイアウトや季節感を表現する色味など、工夫を重ねることで個性あるカレンダーを作成することができます。

### ■ 授業の流れ〔案〕



## 作品モードから [ カレンダー ] を選択しよう

- 1 作品メニューから [ カレンダー ] を選択します。



## カレンダーのタイプを決めよう

- 1 カレンダーのタイプを設定します。任意のレイアウトをサムネイルから選択して [ 次へ ] をクリックします。



## 画像を入力しよう

- 1 ツールバーから [ 画像 ] を選択して、画像を取り込みます。



※ 画像を複数選択して [ 開く ] を選択すると、選択した枚数の画像をキャンバスへ取り込むことができます。

## 画像の大きさと位置を調整しよう

- 1 大きさを変える画像をクリックし、選択状態 (画像の周りに緑色の点線が表示されている状態) にします。



- 2 四隅の [□] にマウスポインタを合わせ外側に向かってドラッグします。



1 選択した画像が拡大します

- 3 画像の中央にマウスポインタを合わせドラッグし画像を移動します。



## 日付を設定しよう

- 1 カレンダーの格子状の枠をクリックして選択すると、コントロールが [ カレンダー設定 ] に切り替わります。

- 2 日付の設定を行います。



設定を行うと、キャンパスのカレンダーに設定値が直に反映します。

## 予定を入力しよう

- 1 [予定設定] をクリックします。
- 2 [スケジュール] ウィンドウが表示するので、事前準備していたスケジュール表の予定を入力します。



1 予定を入力する日付をクリックします

2 [予定] 欄をダブルクリックします

4 [OK] を選択します

3 文字を入力します



キャンパスのカレンダーに上記で入力した予定が反映します。

## カレンダーの背景を設定しよう

- 1 ツールバーから [背景] をクリックします。
- 2 任意の背景画像をサムネイルから選択して [OK] をクリックします。



1 [背景] をクリックします

2 素材を選択します

3 [OK] を選択します



## 印刷 / 保存をしよう

印刷 / 保存方法の詳細は P.40 をご覧ください。  
ここでは保存形式を [\*JCL] に設定します。

# ポストカードを作ろう

▶▶▶ 写真と文字で伝えよう



## ■ 事前準備

- ポストカードに使う画像
- ポストカードの構図
- プリンター

## 実践の詳細

### ■ 実践内容

はがきのテンプレートをそのまま使用することで簡単にポストカードを作成することができます。画像を差し替えることで、日本の四季を伝えるポストカード作成や近況報告カードも作成できるので地域間の交流を目的とした授業を実施することもできます。

### ■ 授業の流れ〔案〕

体験学習

制作

まとめ

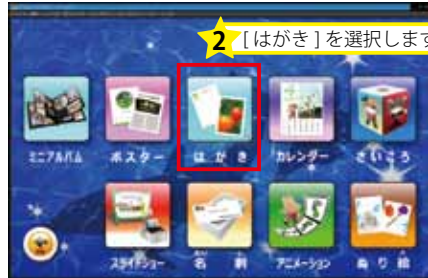
交流

## 作品モードから「はがき」を選択しよう

- 1 作品メニューから「はがき」を選択します。



1 [作品]を選択します



2 [[はがき]を選択します

## はがきのタイプを決めよう

- 1 はがきのタイプを設定します。任意のレイアウトをサムネイルから選択して「次へ」をクリックします。



1 クリックします



2 [次へ]をクリックします

## 文字を入力しよう

- 1 ツールバーから「文字」を選択します。



- 2 文字の設定を行います。



1 文字入力枠内の文字を削除してから文字を入力します

2 フォントを選択します



3 文字の色を選択します

## 画像を入力しよう

- 1 ツールバーから [画像] を選択して、画像を取り込みます。



※ 画像を複数選択して [開く] を選択すると、選択した枚数の画像をキャンバスへ取り込むことができます。



## 印刷をしよう

- 1 ツールバーから [印刷] を選択します。
- 2 右記ウインドウが表示されるので [はい] を選択します。
- 3 印刷の設定を行います。



## 印刷 / 保存をしよう

印刷 / 保存方法の詳細は P.40 をご覧ください。  
ここでは保存形式を [\*].IPS に設定します。

# 自己紹介名刺を作ろう

▶▶▶ 自分を紹介しよう



## ■ 事前準備

- 児童の顔写真
- 名刺の構成図
- プリンター

## 実践の詳細

### ■ 実践内容

児童同士で交換し合う自己紹介名刺を作成することができます。テンプレートをそのまま活用することもでき、イラストを顔写真に差し替えるだけで自分だけのオリジナル名刺を作成することもできます。作成した名刺を交換し合うことで児童間にコミュニケーションができ同時進行型の授業を展開することができます。

### ■ 授業の流れ〔案〕

構成

制作

提出

まとめ

## 作品モードから「名刺」を選択しよう

1 作品メニューから「名刺」を選択します。



1 「作品」を選択します



2 「名刺」を選択します

## 名刺のタイプを決めよう

1 名刺のタイプを設定します。任意のレイアウトをサムネイルから選択して「次へ」をクリックします。



1 クリックします



2 「次へ」をクリックします

## 文字を入力しよう

1 ツールバーから「文字」を選択します。



2 文字の設定を行います。



1 文字入力枠内の文字を削除してから文字を入力します。

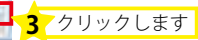
2 フォントを選択します

3 文字の色を選択します



## 画像を差し替え入力しよう

- 1 キャンパスのイラストのデータをクリックして選択します。
- 2 コントロールから [画像差替] を選択します。



## 印刷をしよう

- 1 ツールバーから [印刷] を選択します。
- 2 印刷の設定を行います。



選択した用紙の型に名刺が並んでプレビュー表示されます。

## 独自形式で保存しよう

保存方法の詳細は P.40 をご覧ください。  
ここでは保存形式を [\* .INC] に設定します。

# ホームページの写真を作ろう

▶▶▶ 学校を紹介

事前準備

- ホームページの構図案
- 学校の写真

## 実践の詳細

### ■ 実践内容

ホームページ制作の授業で活用できる画像を作成することができます。画像の一番見やすい明るさやファイル容量の調整方法、保存形式(拡張子)の学習をすることができます。画像を使って情報を発信するために必要な要素をすべて理解することができます。

### ■ 授業の流れ〔案〕



## 画像編集モードを選択しよう

- 1 スタートアップスクリーンから [画像編集] を選択します。



- 1 [画像編集] を選択します



## 画像を入力しよう

- 1 ツールバーから [開く] を選択して、画像を取り込みます。



- 1 任意の画像データを選択します

- 2 クリックします

## 明るさを調整しよう

- 1 ツールバーから [補正] を選択します。



- 1 [明るさ/コントラスト] を選択します



[補正プレセクション]

[補正]-[明るさ/コントラスト] に切り替わります。

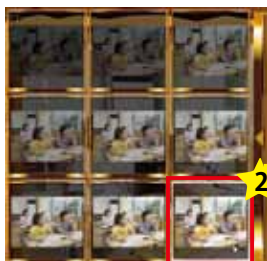
### Point

プレセクションのボタンにマウスポインタを合わせると、機能説明が表示されます。

- 2 コントロールの [明るさ] と [コントラスト] を調整します。



1 [ギャラリー] から [明るさ] を選択します



2 9つのプレビューから任意の明るさを選択します

3 [コントラスト] も同様に調整を行い、[OK] をクリックすると効果が写真に反映します

## 切りぬきで画像の形を変えよう

- 1 ツールバーから [切りぬき] を選択します。



[切りぬき] に切り替わります。

- 2 コントロールの [領域選択] から [型] を選択します。



1 [領域選択] をクリックします



2 任意の [型] を選択します



[2] で選択した型が緑色の点線で表示され、切り抜かれる部分だけ明るく表示されます

- 3 切り取り部分の[ぼかし]を設定します。



1 右側へメモリを進めると効果が強くなり、左側へ進めると効果が弱くなります。

2 [OK]をクリックします



## サイズでファイル容量を小さくしよう

- 1 ツールバーから[サイズ]を選択します。



- 2 コントロールの[サイズ指定]から[Web掲載用]を選択します。



1 [サイズ指定]をクリックします



2 [Web掲載用]を選択します

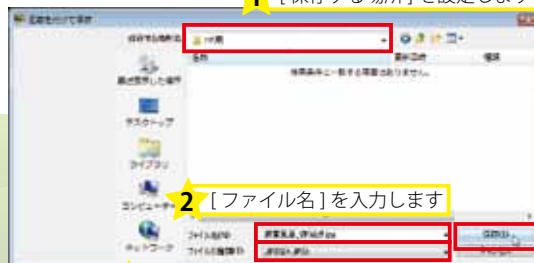
3 [OK]を選択します

## ホームページに適した形式で保存しよう

- 1 ツールバーから[保存]を選択します。



1 [保存する場所]を設定します



2 [ファイル名]を入力します

4 クリックします

3 [ファイルの種類]を\*.jpgに設定します

# ミニ卒業アルバムを作ろう

▶▶▶ 記録を本にしよう



## ■ 事前準備

- 学校生活の記録写真 6 枚
- 本の構成図
- プリンター はさみ のり

## 実践の詳細

### ■ 実践内容

6年間の学校生活の記録を児童自身の手で制作して1冊のミニアルバムにすることができます。自身の成長の記録を振り返ったり、児童同士で見せ合うことで未来を考え行動するための目標を見つけることができます。

### ■ 授業の流れ〔案〕

構成作成

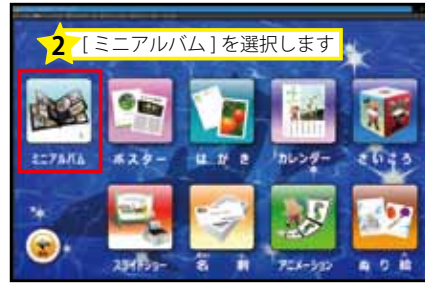
制作

コミュニケーション

まとめ

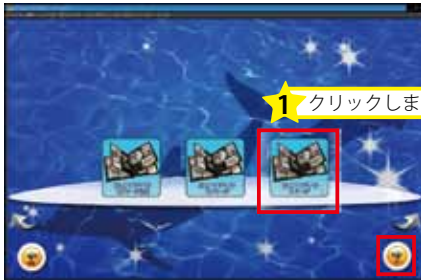
## 作品モードから【ミニアルバム】を選択しよう

- ① 作品メニューから【ミニアルバム】を選択します。



## ミニアルバムのタイプを決めよう

- ① ミニアルバムのタイプを設定します。任意のレイアウトをサムネイルから選択して[次へ]をクリックします。



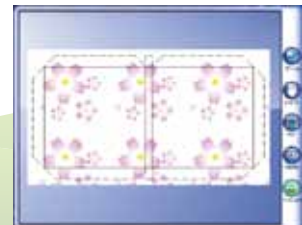
## 表紙を作ろう

- ① サムネイルから【表紙】を選択します。



### 背景を設定しよう

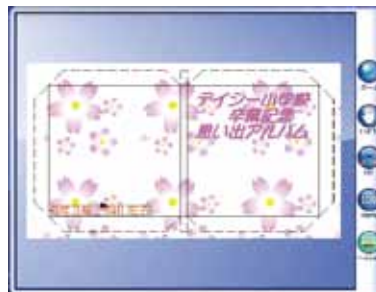
- ① ツールバーから【背景】を選択して、背景画像を設定します。



- ② [OK] をクリックします

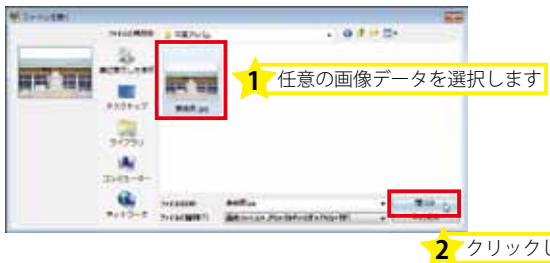
## 文字を入力しよう

- 1 ツールバーから「文字」を選択します。  
コントロールが切り替わり、キャンバスに「文字を入力してください」と表示されます。
- 2 文字の設定を行います。



## 画像を入力しよう

- 1 ツールバーから「画像」を選択して、画像を取り込みます。



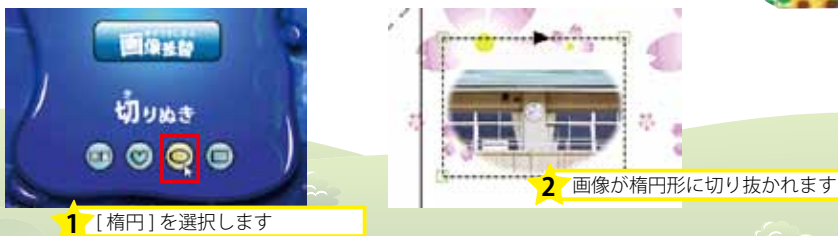
### Point

ミニアルバムは左開き用に作られています。タイトル画像は右側に配置します。



## 画像を切り取りましょう

- 1 切り抜く画像をクリックして選択します。
- 2 コントロールの「切りぬき」から「楕円」を選択します。



## 文字と画像の配置を調整しよう

- 1 大きさを変える画像または文字をクリックし、選択状態 (画像の周りに緑色の点線が表示されている状態) にします。



- 2 四隅の [□] にマウスポインタを合わせ外側に向かってドラッグします。



1 選択した画像が拡大します

- 3 画像または文字の中央にマウスポインタを合わせドラッグし画像を移動します。



## 本体ページを作ろう

- 1 サムネイルから [0001] を選択します。



本体の作成操作方法は表紙と同じですので P.72 ~ P.74 をご覧ください。



## 印刷 / 保存をしよう

印刷 / 保存方法の詳細は P.40 をご覧ください。  
 ここでは保存形式を [\* .IBN] に設定します。  
 ※ 組み立て方は P.165 をご覧ください。

# 写真でプレゼン資料を作ろう

▶▶▶ 発表をしよう



## ■ 事前準備

- 発表用の写真 4 枚
- プレゼンの構成図
- 電子黒板またはプロジェクター (発表用)

## 実践の詳細

### ■ 実践内容

調べ学習で調査・収集した結果をプレゼンテーションすることで人に物事を伝える力を伸ばすことができます。地元との交流や手に触れてわかったことは知識と経験に繋がりが、まとめる力と発表する力は児童自身の自信に繋がります。ここでは発表用の画像の作成を行うことができます。

### ■ 授業の流れ [ 案 ]

構成作成

制作

発表

振り返る

## 画像編集モードを選択しよう

- 1 スタートアップスクリーンから [画像編集] を選択します。



- 1 【画像編集】を選択します



## 画像編集モードを選択しよう

- 1 ツールバーから [開く] を選択して、画像を取り込みます。

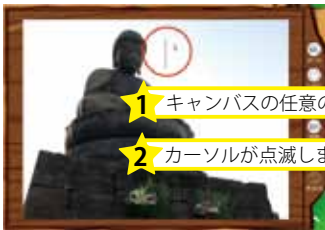


- 1 任意の画像データを選択します

- 2 クリックします

## 文字を入力しよう

- 1 ツールバーから [文字] を選択します。



- 1 キャンバスの任意の場所をクリックします

- 2 カーソルが点滅します



- 2 キーボードで文字を入力します。

3 文字の設定を行います。



4 文字の位置を調整します。



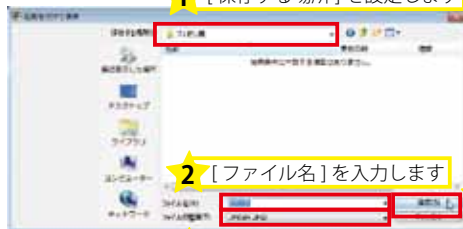
※ 1～4の手順で、必要なテキストを追加します。

## プレゼンに適した形式で保存しよう

1 ツールバーから [保存] を選択します



1 [保存する場所] を設定します



2 [ファイル名] を入力します

4 クリックします

3 [ファイルの種類] を \*.jpg に設定します

上記の手順で資料を準備します。

発表に必要な枚数分の資料を作成します。作成したデータはフォルダーにまとめて保存します。



## スライドショーを作ろう

- 1 [メニューへ]を選択してスタートアップスクリーンに戻ります。

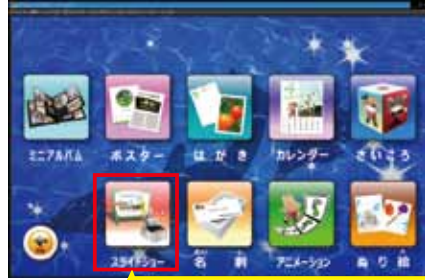


## 作品モードから[スライドショー]を選択しよう

- 1 作品メニューから[スライドショー]を選択します。



- 1 [作品]を選択します



- 2 [スライドショー]を選択します

## 画像を入力しよう

- 1 作成したデータをスライド表示する順番に登録します。



- 1 [1]をクリックします



- 2 任意の画像データを選択します

- 3 [OK]をクリックします



上記の手順でスライドショーに画像を登録します。

## スライドショーのプレビューを見てみよう

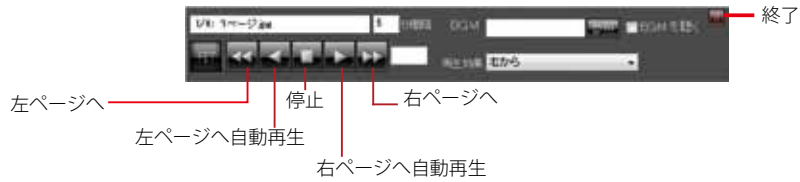
- ① [プレビュー]をクリックすると、画面いっぱいに登録した画像が表示されます。



- ① [プレビュー]をクリックします

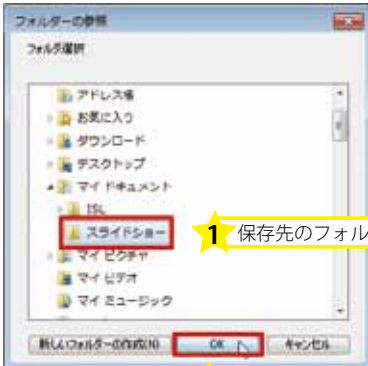


[再生画面]



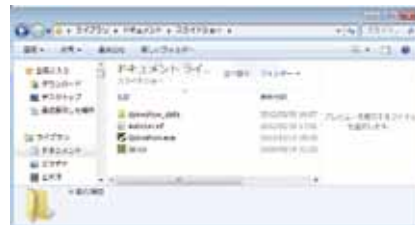
## スライドショーを保存しよう

- ① [保存]をクリックすると、[フォルダーの参照]ウィンドウが表示します。



- ① 保存先のフォルダーを指定します

- ② [OK]をクリックします



# みんなの写真を1つにしよう



▶▶▶ 合成写真を作る



## ■ 事前準備

- 合成する被写体の写真
- 背景になる写真
- 電子黒板またはプロジェクター（発表用）

## 実践の詳細

### ■ 実践内容

合成する被写体の写真と児童自身が融合すると表現の幅が広がり、鑑賞することで新たな発想が湧いてきます。ここでは、撮影した写真同士を合成し1つの作品を生み出すことができる合成を行うことができます。

### ■ 授業の流れ〔案〕

構成制作



素材収集



制作



鑑賞

## 画像編集モードを選択しよう

- 1 スタートアップスクリーンから [画像編集] を選択します。



1 [画像編集] を選択します



## 画像を入力しよう

- 1 ツールバーから [開く] を選択して、合成画像の背景に当たる画像を取り込みます。



1 任意の画像データを選択します

2 クリックします

## 合成する画像を用意しよう

- 1 ツールバーから [合成] を選択します。



- 2 コントロールから [開く] を選択して、合成する被写体に当たる画像を取り込みます。



1 [開く] をクリックします



2 任意の画像データを選択します

3 クリックします

# 合成をしよう

## ペンの調整をしよう

- 1 [太さ][濃度][感度]を調整します。



### 太さ

ペンの太さを調整します。

右の矢印をクリックするとペン先が太くなり、左の矢印をクリックすると細くなります。

### 濃度

描画の濃度を調整します。

右の矢印をクリックすると描画濃度が濃くなり、左の矢印をクリックすると描画濃度が薄くなります。

### 感度

描画の感度を調整します。

右の矢印をクリックすると描画感度が強くなり、左の矢印をクリックすると描画感度が弱くなります。

## 描いてみよう

- 1 マウスポインタを右側のキャンバスに合わせます。



キャンバス上で動かすと連動して動きます。

- 2 左側のキャンバスのスポイトを見ながら被写体の縁に合わせて右側のキャンバス上でドラッグをします。



③ 縁に合わせてドラッグし、被写体だけを右側のキャンバスに抽出します。



### 合成した被写体を移動しよう

① コントロールから [種類] を選択します。



② 被写体の周りに緑色の点線 (領域選択枠) が表示されるので、マウスポインタを合わせドラッグします。



四隅の [□] にマウスポインタを合わせ、内側にドラッグすると被写体を縮小し、外側にドラッグすると被写体を拡大することができます。

### 効果を掛けてみよう

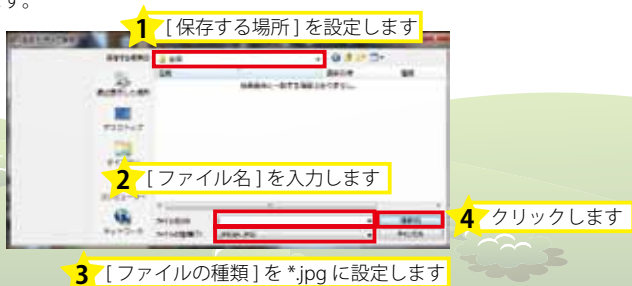
[移動/拡大] 時に、背景画像と被写体をなじませる効果を掛けることができます。



なじませる被写体を選択中にクリックすると縁にぼかしの効果が掛かり背景画像となじんでいきます。繰り返し効果を掛けることができ、回数を重ねることで背景となじみきれいな合成画像を作成できます。

## 合成画像を保存しよう

① ツールバーから [保存] を選択します。



# 自由なCDジャケットを作ろう

▶▶▶ デザイン力を養う



## ■ 事前準備

- デザインを考えたラフスケッチ
- ジャケットに使用する写真
- プリンター

## 実践の詳細

### ■ 実践内容

思い入れのある写真をデザインしてCDジャケットを作ります。児童自身が持っている思い入れや魅力をどのようにしたら表現できるかを考えます。文字のレイアウトやフィルタなどの特殊効果を活用することで、思いをそのまま形にすることができます。

### ■ 授業の流れ(案)

素材収集

構成制作

制作

鑑賞

## 画像編集モードを選択しよう

- 1 スタートアップスクリーンから [画像編集] を選択します。



1 [画像編集] を選択します



## 画像を入力しよう

- 1 ツールバーから [ファイルを開く] を選択して、ジャケット用の画像を取り込みます。



1 任意の画像データを選択します

2 クリックします

## 切りぬきで画像をジャケットの形にしよう

- 1 ツールバーから [切りぬき] を選択します。



[切りぬき] に切り替わります。

- 2 コントロールの[領域選択]から[長方形]を選択し、ジャケットに使用する部分だけを正方形で切り抜きます。

1 [領域選択]をクリックします



2 [長方形]を選択します



3 [OK]をクリックします



## ころころスタンプでかざりをつけよう

- 1 ツールバーから[かざり]を選択します。



1 [ころころスタンプ]を選択します

[かざりプレセクション]

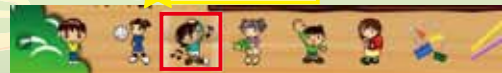
- 2 カテゴリーからころころスタンプのタイプを選び、サムネイルから使用する素材をクリックして選択します。



3 プレビューをドラッグして大きさを調整します。

1 クリックしてカテゴリーを選択します

2 素材を選びます



- 3 キャンバス上の任意の場所にマウスポインタを合わせ、ドラッグしてころころスタンプを押します。



## CDのタイトル文字を入力しよう

- 1 ツールバーから[文字]を選択します。



- 1 キャンバスの任意の場所をクリックします

- 2 キーボードで文字を入力します。



- 2 カーソルが点滅します

- 3 文字の設定を行います。

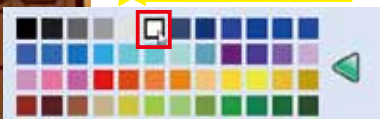


- 1 フォント・サイズを選択します

- 2 文字の太さを選択します

- 3 文字の形状を選択します

- 4 文字の色を選択します



- 5 文字の位置を調整します

## フィルタ効果を掛けよう

- 1 ツールバーから[フィルタ]を選択します。



[フィルタプレセクション]



[フィルタ]-[セピア]に切り替わります。

- 2 コントロールで[色相]を調整します。



- 3 [OK] をクリックすると効果が写真に反映します



## 印刷しよう

1 ツールバーから [印刷] を選択します。



2 印刷の設定を行います。



1 プリンターの種類を設定します

2 用紙のサイズを設定します

3 用紙の種類を選択します

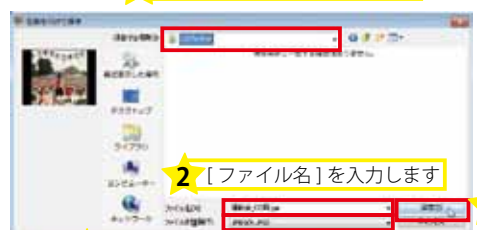
4 クリックすると印刷が開始します

## 保存しよう

1 ツールバーから [保存] を選択します。



1 [保存する場所] を設定します



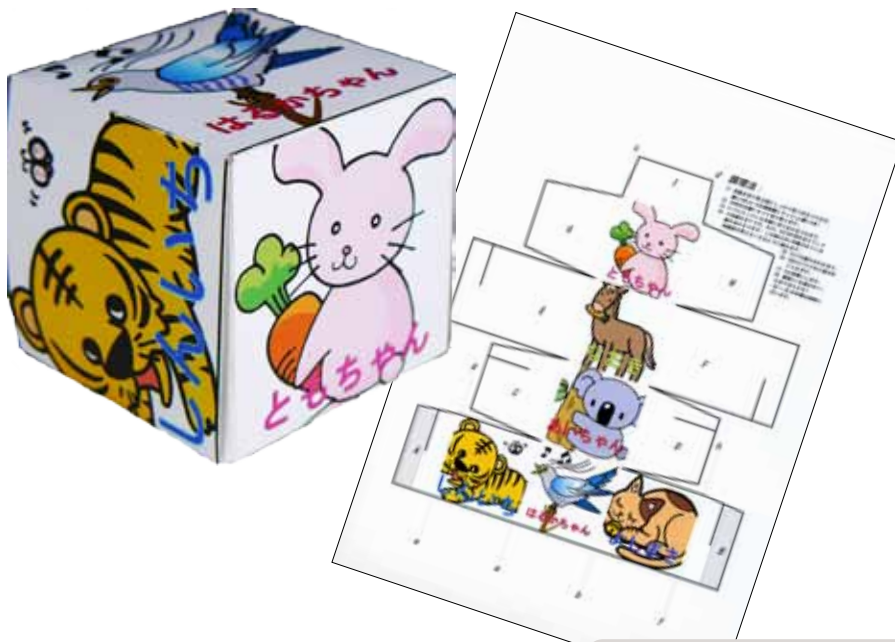
2 [ファイル名] を入力します

4 クリックします

3 [ファイルの種類] を \*.jpg に設定します

# さいころを作ろう

▶▶▶ さいころ作成



- 事前準備
  - さいころに使用する写真またはイラスト
  - プリンター はさみ

## 実践の詳細

### ■ 実践内容

6枚の画像を使ってさいころを作ることができます。数字を入れたレクリエーション用のさいころや児童の顔写真を面にして発表の順番を決めるさいころなど、図工で作った作品で授業を行うことができます。

### ■ 授業の流れ(案)

素材作成

構成制作

制作

鑑賞

## 作品モードから「さいころ」を選択しよう

- ① 作品メニューから「作品」を選択します。



① 「作品」を選択します



- ② 作品選択から「さいころ」を選択します。



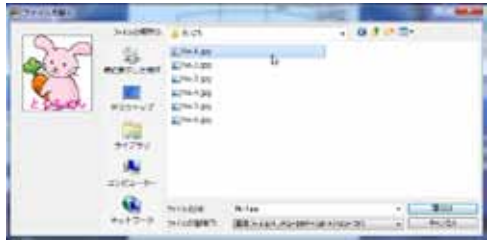
さいころの画像を登録します。

## 画像を登録しよう

- ① コントロールの「フォルダ」ボタンをクリックします。



「フォルダ」ボタンをクリックすると、「ファイルを開く」ウインドウが表示されます。

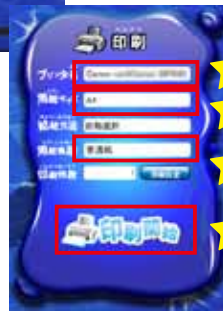


さいころの面に入力する画像を選択して開きます。



## 印刷をしよう

- 1 [印刷]コントロールの詳細を設定します。



- 1 プリンターの種類を設定します
- 2 用紙のサイズを [A4] に設定します
- 3 用紙の種類を選択します
- 4 クリックすると印刷が開始します

※ 組み立て方は P.166 をご覧ください。

# 第4章

# 校務編



# 1. 一括加工処理ツール



写真の管理に便利な一括解像度変換や一括自動補正・一括ファイル名変換の[一括処理]を行うことができます。一括解像度変換は学校でよく使用される解像度の値をテンプレートにしており、一括自動補正は学校環境での撮影シチュエーションを考えた補正効果が自動で掛かります。一括ファイル名変換はサーバや記憶媒体に保存している大量の写真を整理するときに便利です。日頃、撮りためた写真をまとめて整理をするときに活用できるツールになっています。

## 2. 写真の加工



撮影時に明るさや角度などの調整がうまくいかなかったときに行う写真加工ツールです。明るさやホワイトバランスなどの補正ツールは写真に生き生きとした表情を持たせ、児童の活動の様子を忠実に再現することができます。このような写真加工ツールを搭載しているのも、先生方も写真の撮影時は失敗を恐れずに大切な瞬間を思いっきり撮影することができます。

## 3. 校務資料の制作



校務のICT化を支援するための画像編集機能をご紹介します。普段行っている学級通信やプリントやホームページの作成などの画像作成に活用することができます。

児童の活動の様子を伝えるための写真やシーンを伝えるための写真は個人情報の問題が必ずついてきます。そういった問題を解決するための写真加工の術を記載しています。

その他、学校ポスターや校務用名刺の作成方法など先生方のニーズをすべて叶えることができます。

## 4. 教材の制作



授業のICT化を支援するための教材作成を行うことができます。最近ではホームページの情報を活用した授業が増えています。教材となるWebページを必要な部分だけ切り取ってまとめることで電子黒板で活用できる教材を作成することができます。

また、授業で配布するプリントやテスト問題などに活用できる[白地図]作成や参考書のデータをデジタル化するスキャナーを活用した教材作成方法などの術を掲載しています。

# 一括解像度変換でパソコンの負担を軽減

▶▶▶ 画像の容量管理



## 詳細

### ■ 校務効率化

パソコンに取り込んだ複数の写真を一括でリサイズすることができます。画像の品質を良くするためにカメラの性能が日々進化しており、それに伴い画像の解像度も高くなっています。しかし、パソコンに掛かる負荷が大きく記憶媒体に入る画像の枚数は減る一方です。そんなとき、画像の解像度を用途によって調整することで負荷もかからず、記憶媒体に入る画像の枚数を増やすことができます。その処理を一括で行うことができるのが【一括解像度変換】機能です。

## 一括処理モードを選択しよう

- 1 スタートアップスクリーンから[一括処理]を選択します。



- 1 [一括処理]を選択します



## 一括解像度変換を選択しよう

- 1 一括処理から[一括解像度変換]を選択します。



- 1 [一括解像度変換]を選択します

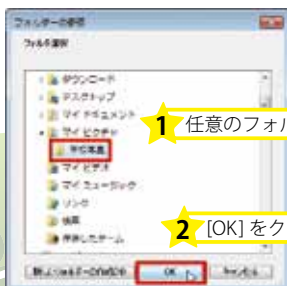


## 入力先フォルダーを選択しよう

- 1 [入力先フォルダー]を選択します。



- 2 [フォルダーの参照]ウィンドウが表示します。あらかじめパソコンに保存している画像フォルダーを選択します。



- 1 任意のフォルダーを選択します

- 2 [OK]をクリックします

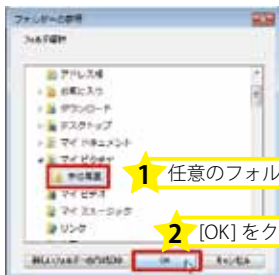


## 出力先フォルダーを選択しよう

- 1 [出力先フォルダー]を選択します。



- 2 [出力先フォルダー]を選択します。  
保存先を指定します。



保存先フォルダーを作成していない場合は [新しいフォルダーの作成] をクリックし、保存先フォルダーを作成できます。

## 解像度を指定しよう

- 1 [サイズ指定]を選択します。



- 2 [実行]をクリックすると、一括解像度変換が開始します。



### Point

用途に合った解像度を選ぶことでパソコンの負担が軽減します。

### ■ 解像度について

詳しい解説は P.154 をご覧ください。

# 一括自動補正で写真を適切な明るさに補正

▶▶▶ 露出の自動調整

第4章 一括加工処理ツール 一括自動補正で写真を適切な明るさに補正



## 詳細

### ■ 校務効率化

校外学習時の室内で撮影した写真や体育館などで撮影した写真は暗く写ってしまうことが少なくありません。特に体育館での撮影は広いためフラッシュが届かず部分的に明るくなってしまうたり、フラッシュの効果があまりありません。そんなとき、写真全体の明るさとコントラストを一括で自動調整することができる【一括自動補正】は複数の写真を適切な補正值にすることができます。

## 一括自動補正を選択しよう

- 1 一括処理から [一括自動補正] を選択します。

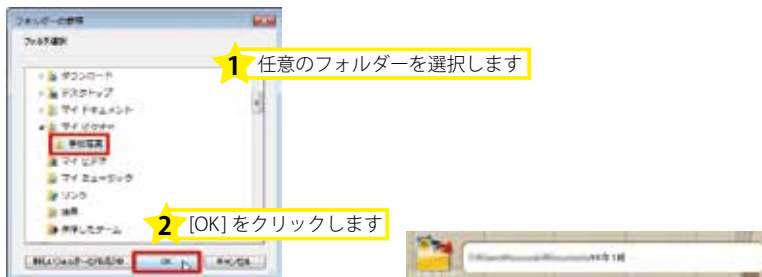


## 入力先フォルダーを選択しよう

- 1 [入力先フォルダー] を選択します。



- 2 [フォルダーの参照] ウィンドウが表示します。  
あらかじめパソコンに保存している画像フォルダーを選択します。



## 出力先フォルダーを選択しよう

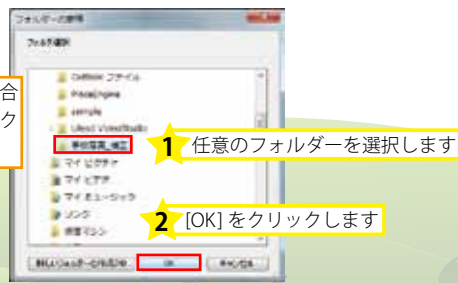
- 1 [出力先フォルダー] を選択します。



- 2 [フォルダーの参照] ウィンドウが表示します。  
保存先を指定します。

保存先フォルダーを作成していない場合は [新しいフォルダーの作成] をクリックし、保存先フォルダーを作成できます。

- 3 [実行] をクリックすると、一括自動補正が開始します。



# 一括ファイル名変換でデータを整理

▶▶▶ ファイル名管理

第4章 一括加工処理ツール 一括ファイル名変換でデータを整理



中庭.jpg



ホームページ用素材001.jpg



運動会\_1010\_01.jpg



ホームページ用素材002.jpg



授業003.jpg



ホームページ用素材003.jpg



素材.jpg



ホームページ用素材004.jpg



## 詳細

### ■ 校務効率化

デジタルカメラによって画像のファイル名が異なり、それらのデータをフォルダ整理するときに1つずつファイル名を付け直すのは非常に時間と手間が掛かります。そんなとき、ファイル名に固定する文字と連番のスタート番号を決めるだけで、簡単にファイル名変換を行うことができます。

## 一括ファイル名変換を選択しよう

- 1 一括処理から[一括ファイル名変換]を選択します。

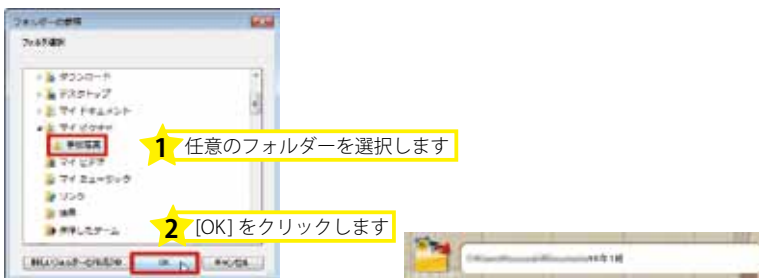


## 入力先フォルダーを選択しよう

- 1 [入力先フォルダー]を選択します。



- 2 [フォルダーの参照]ウインドウが表示します。あらかじめパソコンに保存している画像フォルダーを選択します。



## 詳細を設定しよう

- 1 ファイル名に付加する情報を入力します。



### プレビュー

設定したファイル名を確認することができます。

### 固定文字

連番の前に付ける固定の文字を指定することができます。

### 連番

桁数を1桁～8桁まで設定することができます。

### 開始番号

連番の開始番号を設定することができます。

### ファイル形式

チェックマークを付けた拡張子の画像を対象にファイル名変換をすることができます。

- 2 [実行]をクリックすると、一括ファイル名変換が開始します。

# 写真の不要部分の削除

▶▶▶ コピー修正



## 詳細

### ■ 校務効率化

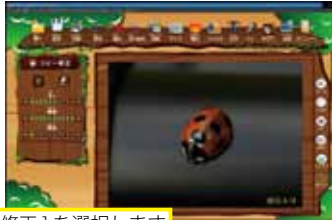
大切なクラスや学年の集合写真に不要なもの（レンズのゴミなど）が写り込んでしまった場合、周辺の似た色で消すことができます。写真の日付が不要になったときやスキャナーで読み取ったときのゴミ取りにも活用することができます。

## 画像の日付を削除しよう

- 1 ツールバーの[補正]を選択します。



- 1 [コピー修正]を選択します



- 2 キャンバスにマウスポインタを合わせると、2つの円が表示します。



- 1 キャンバスに2つ円が表示します



- A コピー元

スポイトのイラストが付いた円の範囲を読み取ります。



- B コピー先

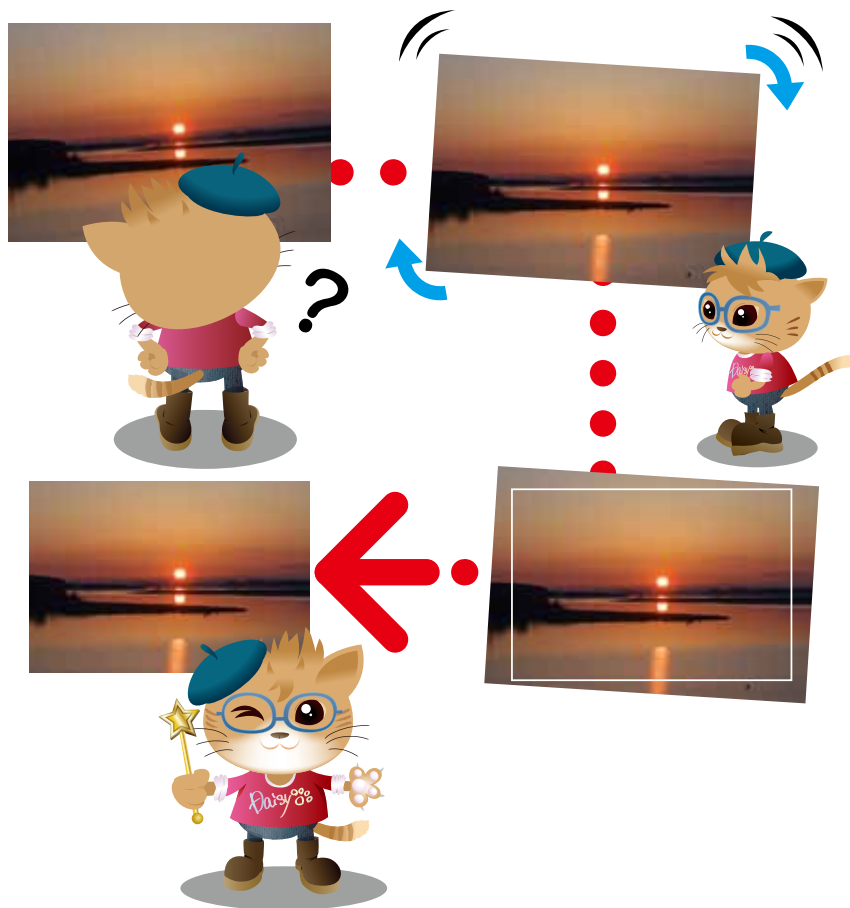
ペンのイラストが付いた円の範囲へ、読み取った部分をペンでなぞるように写真をコピーします。

- 3 キーボードの[Ctrl]キーを押したままにすると[A]の位置が固定されます。B位置が確定したらキーボードから指を放し、消去したい部分を[B]でドラッグします。



# 傾いた写真の修正

▶▶▶ 角度修正



## 詳細

### ■ 校務効率化

撮影時に足元が悪かったり、三脚でカメラを固定したけど角度がずれてしまうことが多々あります。地平線や学校のグラウンドを撮影した場合、写真が上下に二分されて見えるので角度がずれていると目立ちます。ここでは写真の角度を微調整して写真を正しい角度に整えることができます。

## 画像を回転して正しい位置にしよう

- 1 ツールバーの[回転]を選択します。



- 2 キャンパスの写真の上にマウスポインタを合わせ任意の方向へドラッグして角度を変えます。



1 任意の方向へドラッグします

2 [OK]をクリックします

### Attention

ドラッグ中は画像がモザイク状になりますが、ドラッグしている指を放すと、元の画像の状態に戻ります。

## 余分な部分を切り取ろう

- 1 ツールバーから[切りぬき]を選択します。



- 2 コントロールの[領域選択]から[型]を選択します。



1 [領域選択]をクリックします

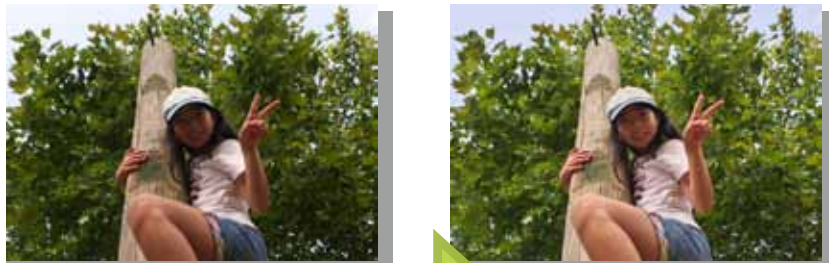
2 [長方形]を選択します

3 [OK]をクリックします

[2]で選択した型が緑色の点線で表示され、切り抜かれる部分が明るく表示されます。

# 逆光で撮影された写真を補正

▶▶▶ 逆光補正



## 詳細

### ■ 校務効率化

太陽やライトの光に向かって撮影をすると、被写体に対する光が少なく暗く写ってしまう（逆光撮影）ことが多いです。大切な瞬間なので光の方向などを考えて撮影することが難しいかと思えます。逆光補正は暗く写ってしまった写真の明るさを調整して適切な明るさにすることができるので、生き生きとした児童の動きをそのまま残すことができます。

## 補正の種類を選ぼう

- 1 ツールバーから [補正] を選択します。



[補正プレセクション]



[補正]-[逆光補正]に切り替わります。

## 被写体の明るさを調整しよう

- 1 [強さ]のスライダーを右へ移動すると被写体が明るくなり、左へ移動すると被写体が暗くなります。



[調整前]



[調整後]

# 明るさ / コントラストの調整

▶▶▶ 写真全体の明るさ



## 詳細

### ■ 校務効率化

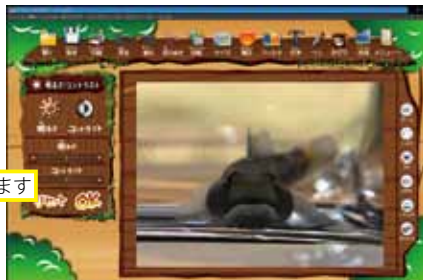
教室内での撮影で暗く写ってしまった写真や、校庭など炎天下で撮影した明る過ぎてぼやけて写ってしまった写真を補正することができます。暗くなってしまった写真は「明るさ」を調整し、ぼやけてしまった写真はコントラストを調整してメリハリのある写真にすることができます。

## 補正の種類をえらぶ

- 1 ツールバーから「補正」を選択します。



〔補正プレセクション〕



〔補正〕-「明るさ/コントラスト」に切り替わります。

## 被写体の明るさを調整しよう

- 1 スライダーを右へ移動すると被写体が明るくなり、左へ移動すると被写体が暗くなります。



1 クリックして明るさを調整します

2 [OK] をクリックします



〔調整前〕



〔調整後〕

# ホワイトバランスを調整

▶▶▶ 記憶の色味に

第4章 写真の加工 ホワイトバランスを調整



## 詳細

### ■ 校務効率化

蛍光灯の下で撮影をするとピンク色っぽく写ったり、青白く写ってしまったりと目で見たと違う撮影結果になることがあります。そんなときに被写体の肌の色や白い部分を基準にして高品位な補正を行えるのが「ホワイトバランス」補正です。色温度や色偏差を自動で認識して写真にとって最適の色味に補正します。

## 補正の種類をしよう

1 ツールバーから [補正] を選択します。



[補正プレセクション]



[補正]-[ホワイトバランス]に切り替わります。

## 被写体のホワイトバランスを調整しよう

### 人物

[肌色指定] を選択して人物の [肌] の部分をクリックします。



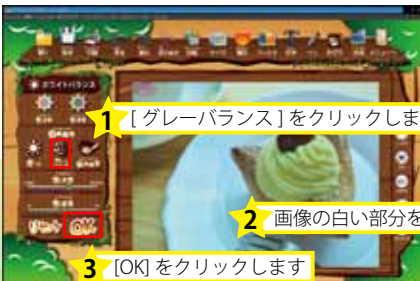
3 [OK] をクリックします



[調整後]

### 白を基準

[グレイバランス] を選択して画像の白い部分をクリックします。



3 [OK] をクリックします



[調整後]

# 学級通信・おたより用の写真作成

▶▶▶ 輪転機印刷で写真をキレイに

第4章 校務資料の制作 学級通信・おたより用の写真作成



## 詳細

### ■ 校務効率化

学級通信や学年便りに使用する写真を作成することができます。写真を強調するために多彩な型で切り抜きを行って印象を与えたり、写真をドット絵にする[網点]フィルタを掛け、輪転機で印刷をするときに画像をきれいに印刷できるようにしました。学校生活の様子をきれいな画像を通じて保護者へ伝えることができます。

## 画像の補正をしよう

- 1 ツールバーから [補正] を選択します。



[補正プレセクション]

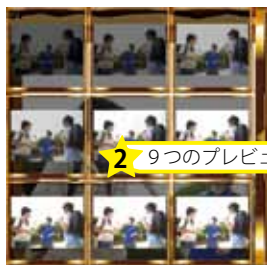


[補正]-[明るさ/コントラスト]に切り替わります。

- 2 コントロールの [明るさ] と [コントラスト] を調整します。



- 1 [ギャラリー] から [明るさ] を選択します



- 2 9つのプレビューから任意の色味を選択します

- 3 [OK] をクリックすると効果が写真に反映します



[補正後]

## フィルタ効果を掛ける

- 1 ツールバーから [フィルタ] を選択します。



2 [フィルタ選択] ウィンドウに切り替わります。



1 [網点] フィルタを選択します

選択したフィルタ効果が[フィルタ画像]に掛かり、コントロールが表示されます。

3 コントロールの[点の大きさ]調整します。



1 [ギャラリー] から [点の大きさ] を選択します



2 9つのプレビューから任意のフィルタ効果を選択します

3 [OK] をクリックすると効果が写真に反映します



[ズーム時]

## 切りぬきで写真の形を変えよう

1 ツールバーから[切りぬき]を選択します。



2 コントロールの [領域選択] から [型] を選択します。



2 任意の [型] を選択します

[2] で選択した型が緑色の点線で表示され、切り抜かれる部分が明るく表示されます。



3 切り取り部分の [ぼかし] を設定します。



1 右側へメモリを進めると効果が強くなり、左側へ進めると効果が弱くなります

2 [OK] をクリックします



## 保存をしよう

1 ツールバーから [保存] を選択します。



2 [ファイル名] を入力します

3 [ファイルの種類] を \*.jpg に設定します

4 [保存] をクリックします

# 校内・教室用掲示物の作成

▶▶▶ 簡単レイアウト



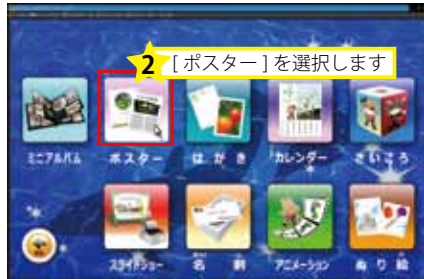
## 詳細

### ■ 校務効率化

児童の修学旅行や課外活動の様子の写真入り掲示物を作成することができます。校内に掲示することはもちろん、ホームページにそのまま掲載することもできるので、学校間の交流や外部へ向けて発信することもできます。

## 作品モードから「ポスター」を選択しよう

- 1 作品メニューから「ポスター」を選択します。



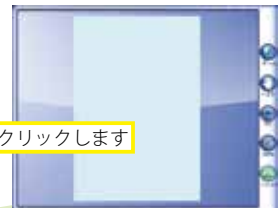
## ポスターのレイアウトや写真の枚数を決めよう

- 1 写真を配置する場所と枚数を設定します。任意のレイアウトをサムネイルから選択して「次へ」をクリックします。



## 背景を設定しよう

- 1 ツールバーから「背景」を選択して、背景画像を設定します。

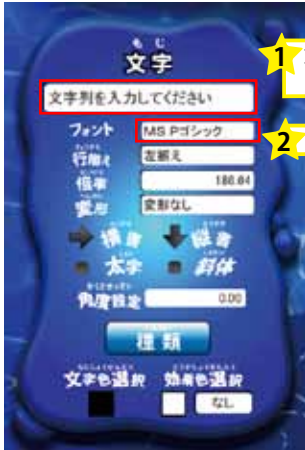


## 文字を入力しよう

- 1 ツールバーから「文字」を選択します。  
コントロールが切り替わり、キャンパスに「文字列を入力してください」と表示されます。



- 1 文字の設定を行います。



1 文字入力枠内の文字を削除してから文字を入力します。

2 フォントを選択します

3 文字の種類を選択します

4 文字の色を選択します



[文字入力例]

## 画像を挿入しよう

- 1 ツールバーから「画像」を選択して、画像を取り込みます。



1 任意の画像データを選択します

2 クリックします

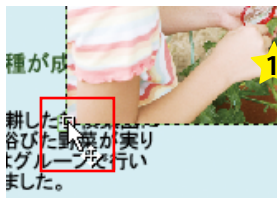
※ 画像を複数選択して「開く」を選択すると、選択した枚数の画像をキャンバスへ取り込むことができます。

## レイアウトを整えましょう

- 1 大きさを変える画像または文字をクリックし、選択状態（緑色の点線が表示されている状態）にします。



- 2 四隅の[□]にマウスポインタを合わせ外側に向かってドラッグします。



- 3 画像または文字の中央にマウスポインタを合わせドラッグして移動します。



## 画像を切り抜こう

- 1 切り抜く画像をクリックして選択します。
- 2 コントロールの[切りぬき]から[楕円]を選択します。



## 印刷 / 保存をしよう

印刷 / 保存方法の詳細は P.40 をご覧ください。  
ここでは保存形式を [\*].ILY に設定します。

# ホームページ・ブログ掲載用の写真作成

▶▶▶ 個人情報の保護

## 第4章

### 校務資料の制作

### ホームページ・ブログ掲載用の写真作成



#### 詳細

#### ■ 校務効率化

学校の様子や特別活動の様子を撮影した写真を学校ホームページに掲載することができます。ファイル容量を調整する解像度変換はもちろん、児童の顔写真や名札がそのまま掲載されることで問題になっている個人情報の保護もフィルタ機能を使うことで万全な形で対応できます。撮りためた写真を余すことなく使うことができるので写真選びを楽しく行うことができます。

## 補正の種類を選ぼう

- 1 ツールバーから [補正] を選択します。



[補正プレセクション]

- 1 [ホワイトバランス] を選択します



[補正]-[ホワイトバランス] に切り替わります。

## 被写体の明るさを調整しよう

人物の肌色を基準に調整する便利な方法

[肌色指定] を選択して人物の [肌] の部分をクリックします。



- 1 [肌色指定] をクリックします

- 2 人物の肌の部分をクリックします

- 3 [OK] をクリックします



[調整後]

## サイズでファイル容量を小さくしよう

- 1 ツールバーから [サイズ] を選択します。



- 2 コントロールの [サイズ指定] から任意の [解像度] を選択します。



## 掲載許可のない児童の顔にフィルタ効果を掛ける

- 1 ツールバーから [フィルタ] を選択します。

- 2 [フィルタ選択] ウィンドウに切り替わります。



- 1 [ペン先フィルタ]-[ぼかし] を選択します

選択したフィルタ効果がコントロールのプレビューに表示されます。

- 3 描画をするペンの [太さ] を設定します。



スライダーを右へスライドするとペン先が太くなり、左へスライドするとペン先が細くなります。

任意の部分をドラッグすると効果が反映します。

- 4 [OK] ボタンをクリックすると、フィルタ効果が確定します。

### Point

効果が弱い場合は、[OK] ボタンを選択し、再度設定すると効果が強くなります。

## 保存をしよう

保存方法の詳細は P.40 をご覧ください。ここでは保存形式を [\*JPG] に設定します。

# 輪転機・コピー機向け写真加工



▶▶▶ 網点フィルタ



## 詳細

### ■ 校務効率化

学校のコピー機や輪転機で写真入りの資料を印刷すると、インクが塗られた状態で真っ黒になってしまうことがあります。ここでは、そんな色情報をたくさん持った画像をドット絵に変換して、きれいに印刷することができます。操作も非常に簡単なので気軽に使用することができます。

## フィルタ効果を掛ける

- 1 ツールバーから [フィルタ] を選択します。



- 2 [フィルタ選択] ウィンドウに切り替わります。



- 1 [網点] フィルタを選択します



コントロールが表示され、選択したフィルタ効果が掛かります。

- 3 コントロールの [点の大きさ] 調整します。



- 1 [ギャラリー] から [点の大きさ] を選択します

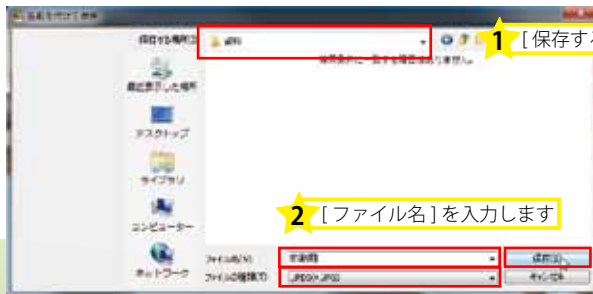


- 2 9つのプレビューから任意の点の大きさを選択します

- 3 [OK] をクリックすると効果が写真に反映します

## 保存をしよう

- 1 ツールバーから [保存] を選択します。



- 1 [保存する場所] を選択します

- 2 [ファイル名] を入力します

- 4 [保存] をクリックします

- 3 [ファイルの種類] を \*.jpg に設定します

# 校務用の名刺作成

▶▶▶ 名刺作成



## 詳細

### ■ 校務効率化

校務で自分用の名刺が必要なときに、テンプレートを使ってすぐに作成することができます。顔写真や学校写真入りで作成できるので、面談や挨拶のときに即活用できます。必要情報をQRコードに集約できるので先生方がお勧めされている学校の情報を掲載して、オリジナル名刺をまとめて作ることもできます。

## 作品モードから「名刺」を選択しよう

- 1 作品メニューから「名刺」を選択します。



## 名刺のタイプを決めよう

- 1 名刺のタイプを設定します。任意のレイアウトをサムネイルから選択して「次へ」をクリックします。



## 文字を入力しよう

- 1 ツールバーから「文字」を選択します。



- 2 文字の設定を行います。



- 3 文字の種類を選択します

- 4 文字の色を選択します

## 画像を差し替え入力しよう

- 1 キャンパスのイラストのデータをクリックして選択します。
- 2 コントロールから [画像差替] を選択します。



1 クリックします



2 任意の画像データを選択します

3 クリックします

## QRコードを入力しよう

- 1 ツールバーから [QRコード] をクリックして選択します。
- 2 [電話番号][E-Mail][URL] を入力します。



入力すると、キャンパス上のQRコードに入力した情報が反映します。



## 印刷をしよう

- 1 ツールバーから [印刷] を選択します。



- 2 印刷の設定を行います。



- 1 プリンターの種類を設定します

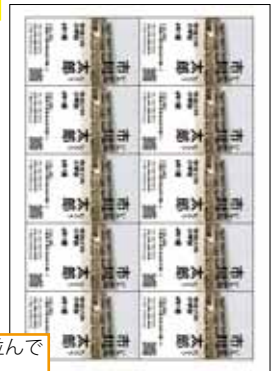
- 2 用紙のサイズを設定します

- 3 用紙の種類を選択します

- 4 名刺用紙のメーカーを指定します

- 5 [4] で指定したメーカーの用紙名を選択します

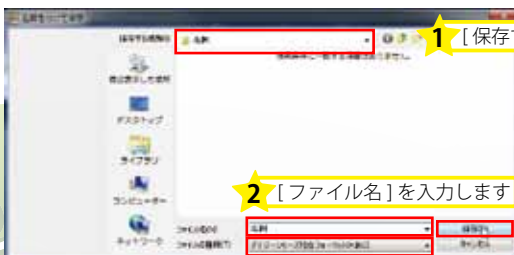
- 6 クリックすると印刷が開始します



選択した用紙の型に名刺が並んでプレビュー表示されます。

## 保存をしよう

- 1 ツールバーから [保存] を選択します。



- 1 [保存する場所] を選択します

- 2 [ファイル名] を入力します

- 4 [保存] をクリックします

- 3 [ファイルの種類] を \*.INC に設定します

# 修学旅行の写真をインデックス掲示

▶▶▶ 撮った写真を管理



## 詳細

### ■ 校務効率化

学校行事で撮影した写真を用紙に一覧印刷することができます。番号を振って掲載をすることで、欲しい写真の焼き増しが行いやすくなります。またデジタルカメラには今まで撮った写真がたくさん保存されていると思います。カメラの紛失やメモリーカードの取り扱いによる不具合で大切なデータが消えてしまわないように、大事な記録をパソコンやCDに保存し、どのフォルダに何の画像が入っているかわかりやすくするために、[インデックス]機能を使用すると、写真を小さく一覧印刷できるので、フォルダ名を記載したりCDと一緒に保管することで効率良くデータ管理を行うことができます。

## 総合印刷モードを選択しよう

- 1 スタートアップスクリーンから【総合印刷】を選択します。



1 【総合印刷】を選択します



## インテックスを選択しよう

- 1 総合印刷から【インテックス】を選択します。

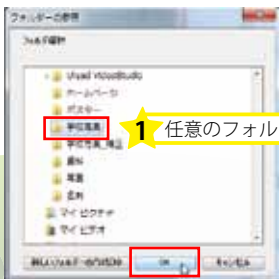


1 【インテックス】を選択します



## 画像を登録しよう

- 1 コントロールの【フォルダ】を選択します。
- 2 【フォルダの参照】ウインドウが表示します。インテックス印刷するフォルダを指定します。



1 任意のフォルダを選択します

2 【OK】をクリックします



- 3 ナビゲーションバーの[進む]をクリックします。



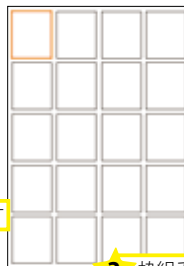
1 クリックします

## レイアウトの設定をしよう

- 1 コントロールの[割り付け数]を選択します。



2 [縦][横]に並べる写真の数を設定します



3 枠組みが完成です

- 2 ナビゲーションバーの[進む]をクリックします。



1 クリックします

## コマ情報の設定をしよう

- 1 コントロールでコマ情報を設定します。



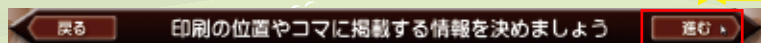
1 印刷位置を調整します  
[内接]を選択します。  
初期値は[内接]に設定されています。

コマのプレビューです。

3 [撮影日]を選択します

2 画像に番号を振る場合は[ON]にします

- 2 ナビゲーションバーの[進む]をクリックします。



1 クリックします

## 画像を配置しよう

- 1 コントロールの[順配置]を選択します。



- 2 ナビゲーションバーの[進む]をクリックします。



- 1 クリックします

## 印刷をしよう

- 1 印刷の設定を行います。



- 1 プリンターの種類を設定します

- 2 用紙のサイズを設定します

- 3 用紙の種類を選択します

- 4 クリックすると印刷が開始します

# 卒業アルバムCDを作成

▶▶▶ スライド出力



第4章 校務資料の制作 卒業アルバムCDを作成

## 詳細

### ■ 校務効率化

児童の写真をスライドショーにしてそのままCDにすることができます。データはデジピクチャーワールドがインストールされていないパソコンでも再生できるので、卒業式のときに児童にプレゼントするなど活用する用途はたくさんあります。

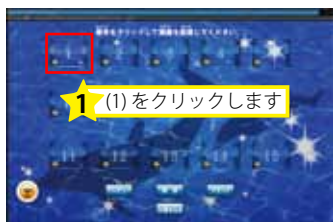
## 作品モードから「スライドショー」を選択しよう

1 作品メニューから「スライドショー」を選択します。



## 画像を入力しよう

1 作成したデータをスライド表示する順番に登録します。



3 クリックします



上記の手順でスライドショーに画像を登録します。

## スライドショーのプレビューを見てみよう

- 1 [プレビュー]をクリックすると、画面にいっぱいに登録した画像が表示します。



1 [プレビュー]をクリックします



再生画面



巻き戻し 停止 先送り

巻き戻し自動再生 先送り自動再生

## スライドショーをCDに保存しよう

- 1 パソコンにCDをセットします。
- 2 [CD書き込み]をクリックすると、[ディスクへの書き込み]ウインドウが表示します。



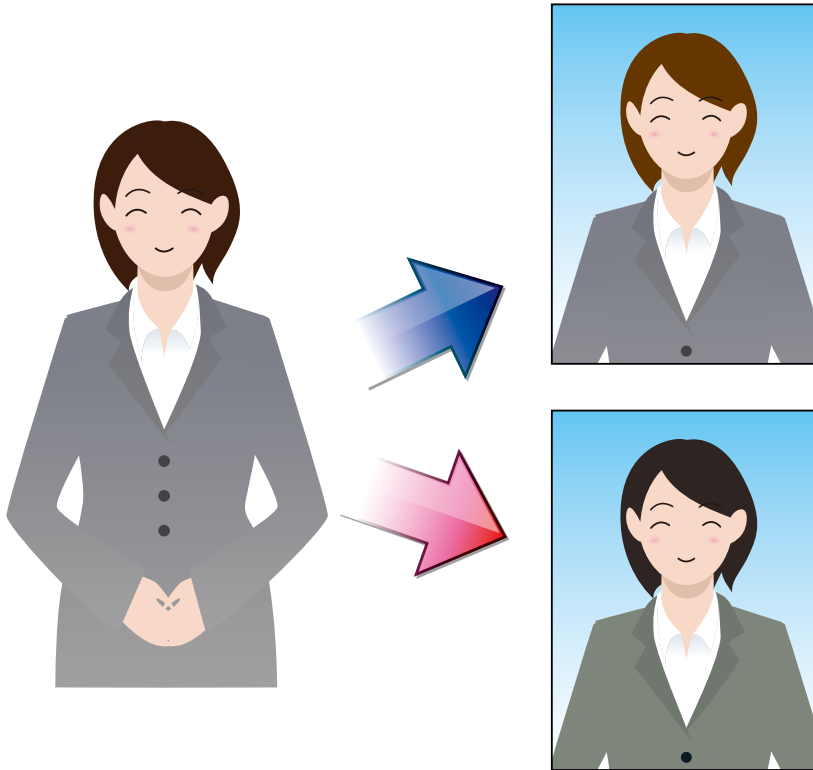
1 [ディスクのタイトル]を入力します

2 [次へ]をクリックします

[次へ]をクリックすると、CDへの書き込みが始まります。

# 証明書の写真作成

▶▶▶ 証明書関連



## 詳細

### ■ 校務効率化

先生方の教員免許更新や写真必須の書類を作るときに、サイズを指定した写真を用意するのはとても大変です。ここでは大きさをあらかじめ設定して画像を読み込むだけで簡単に証明書用の写真を作成できます。光沢紙または写真用紙に印刷すると、プロも顔負けの証明写真を作成することができます。

## 総合印刷モードを選択しよう

- 1 スタートアップスクリーンから [総合印刷] を選択します。



## サイズ指定を選択しよう

- 1 総合印刷から [サイズ指定] を選択します。



## 画像を登録しよう

- 1 コントロールの [ファイル] を選択します。
- 2 [ファイルを開く] ウィンドウが表示します。サイズ指定印刷する写真を指定します。



- 2 [開くをクリックします



- 3 ナビゲーションバーの[進む]をクリックします。



- 1 クリックします

## レイアウトの設定をしよう

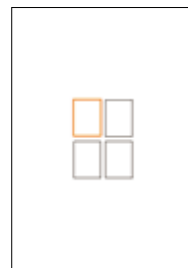
- 1 コントロールの[コマサイズ]を選択します。



- 1 クリックします

ヨコ [コマ] タテ [コマ] のコマを [コマ] 冊 印刷します。

- 2 [縦][横]のサイズ指定とコマ数を設定します



- 3 枠組みが完成です

- 2 ナビゲーションバーの[進む]をクリックします。



- 1 クリックします

## 画像を配置しよう

- 1 コントロールの[全配置]を選択します。



- 1 [全配置]をクリックします



- 2 登録した画像が配置されます

- 2 ナビゲーションバーの[進む]をクリックします。



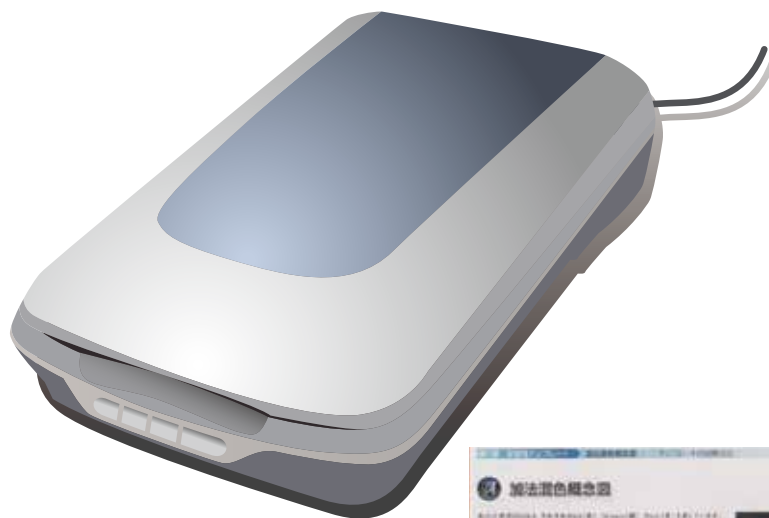
- 1 クリックします

## 印刷設定をしよう

印刷設定の詳細は P.40 をご覧ください。※今回の例では、用紙サイズをL版(タテ 127mm×ヨコ 89mm)に設定することで、周囲の白スペースを最小限に抑えて印刷することができます。

# スキャナーで読み取った資料で教材作り

▶▶▶ デジタル教材



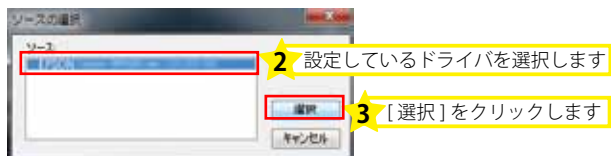
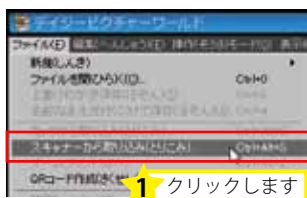
## 詳細

### ■ 校務効率化

副教材として学校図書を資料にします。図書館などで借りた本をスキャナーで読み取り、形の調整とゴミ取りを行って資料が完成します。ペンの機能で赤線を引いたり文字入力も行えます。スライドショー機能と合わせて活用すると、板書の時間も短縮されるので授業時間を有効的に活用することができます。

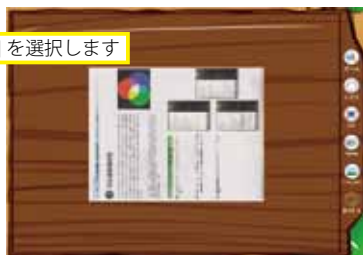
## 教材をスキャナーで読み取ろう

- 1 メニューバーの[ファイル]から[スキャナーから取り込み]を選択します。



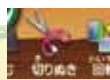
## 角度を整えよう

- 1 ツールバーの[回転]を選択します。



## 不要部分を切り取ろう

- 1 ツールバーから[切りぬき]を選択します。



2 コントロールの [領域選択] から [型] を選択します。



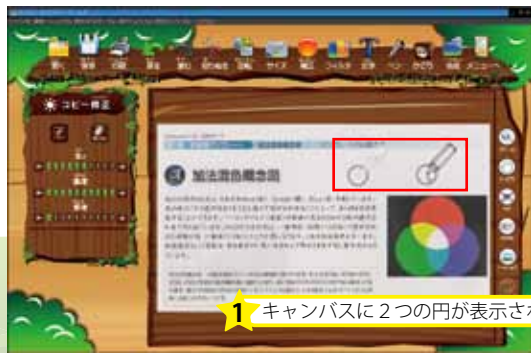
## 取り込み時に写り込んだゴミを消そう

1 ツールバーの [補正] を選択します。



1 [コピー修正] を選択します

2 キャンバスにマウスポインタを合わせると、2つの円が表示します。



1 キャンバスに2つの円が表示されます



A コピー元

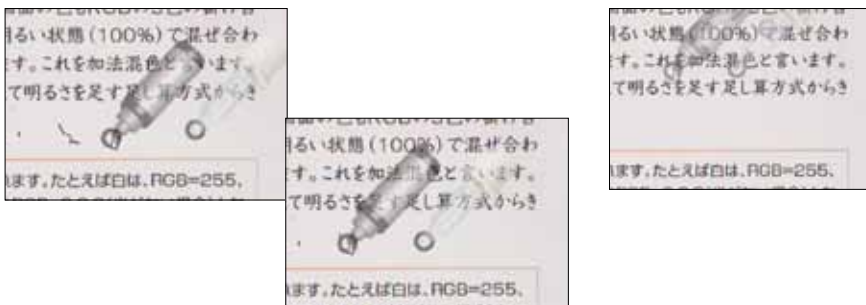
スポイトのイラストが付いた円の範囲を読み取ります。



B コピー先

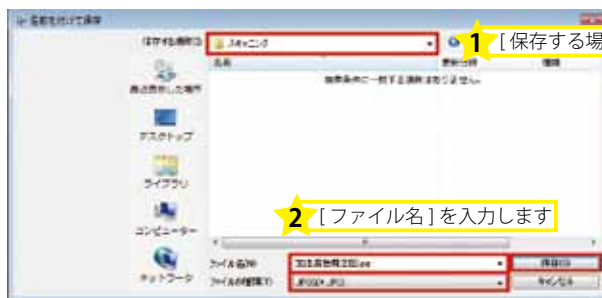
ペンのイラストが付いた円の範囲へ、読み取った部分をペンでなぞるように写真をコピーします。

- 3 キーボードの [Ctrl] キーを押したままにすると [A] の位置が固定されます。[B] の位置が確定したらキーボードから指を放し、消去したい部分を [B] でドラッグします。



## 保存をしよう

- 1 ツールバーから [保存] を選択します。



- 3 [ファイルの種類] を \*.jpg に設定します

- 4 [保存] をクリックします

# 幅広く活用できる白地図作成

▶▶▶ 教材プリント作成



## 詳細

### ■ 校務効率化

歴史や地理の授業で活用できる白地図を作成します。地図のイラストはフリー素材も活用できますが、授業で活用している地図帳を必要なページだけスキャナーで読み取り、画像データにして使用することもできます。授業中のプリントやテスト問題にも活用できます。※ 学校で使用する著作権の範囲内で活用してください。

## フィルタ効果を掛ける

- 1 ツールバーから [フィルタ] を選択します。



- 2 [フィルタ選択] ウィンドウに切り替わります。



- 1 [白地図] フィルタを選択します



コントロールが表示され、選択したフィルタ効果が掛かります。

- 3 コントロールの [線幅] 調整します。



- 1 [ギャラリー] から [線幅] を選択します



- 2 9つのプレビューから任意の線幅を選択します

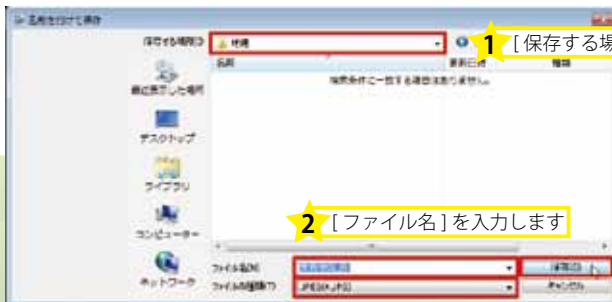


- 3 [OK] をクリックすると効果が写真に反映します

[完成]

## 保存をしよう

- 1 ツールバーから [保存] を選択します。



- 1 [保存する場所] を選択します

- 2 [ファイル名] を入力します

- 4 [保存] をクリックします

- 3 [ファイルの種類] を \*.jpg に設定します

# 電子黒板で活用できる補足資料作り

▶▶▶ 補足教材作成



第4章 授業教材の制作 電子黒板で活用できる補足資料作り

## 詳細

### ■ 校務効率化

授業で活用できる Web ページを画像データにして利用できます。電子黒板に表示して授業を行うことで、新たに先生方が他のアプリケーションを使って資料をまとめて配布するより授業の準備時間も減り、電子黒板を使用することで児童が授業に集中する傾向があります。※ 学校で使用する著作権の範囲内で活用してください。

## 画面キャプチャーを撮ろう

- 1 教材にする Web ページを開き、必要ページを画面の中央に表示します。
- 2 キーボードの [PrintScreen] キーを押します。



## デジピクチャーワールドを起動しよう

- 1 [スタート]メニューから[デジピクチャーワールド]を選択します。
- 2 下記ウィンドウが表示され、デジピクチャーワールドが起動します。



## 画像編集モードを選択しよう

- 1 スタートアップスクリーンから[画像編集]を選択します。



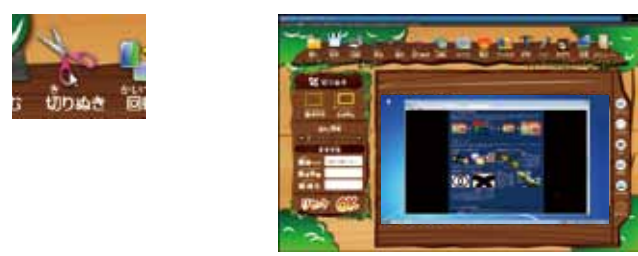
## データを貼り付けよう

- 1 メニューバーの [編集] から [貼り付け] を選択します。



## 切りぬきで画像の形を変えよう

- 1 ツールバーから [切りぬき] を選択します。



[切りぬき] に切り替わります。

- 2 コントロールの [領域選択] から [型] を選択します。



[2] で選択した型が緑色の点線で表示され、切り抜かれる部分だけ明るく表示されます。

## 保存をしよう

存方法の詳細は P.40 をご覧ください。ここでは保存形式を [\*JPG] に設定します。



# 第5章

# 知識編



# 写真撮影のコツ！

最近のデジタルカメラはとても優秀で、シャッターを押すだけでたいがいの状況においてきれいな写真を撮ることができます。しかし場合によっては「暗すぎた!」「ボケてる!」「ブレてる!」といったような失敗写真がないわけではありません。その失敗写真が大切な記念の一枚だったならば、目も当てられません。

以下では、デジタルカメラ初心者のための写真撮影のコツをいくつかご紹介いたします。

## 『オートモード』で難しい設定はカメラに任せよう



『オートモード』はカメラマークを選択する場合があります。

「デジタルカメラは設定項目がたくさんあって操作が難しい。」というイメージをお持ちの方、意外と多いですね。そんな方はまず撮影設定を「オートモード」に設定してみてください。

「オートモード」はほとんどのデジタルカメラに搭載されている機能で、写真の明るさや色調などを適切な仕上がりにするためのいくつかの設定を自動で行ってくれる初心者に心強い機能です。

まずは「オートモード」で撮影に慣れてから、こだわりの撮影が可能となる他のモードにステップアップしてみましょう。



### 『オートモード』がしてくれること

オートモードでできることは、カメラによって様々ですが代表的なものをご紹介します。

#### 光の量（明るさ）を自動調節

人間の目が明るいところ暗いところで瞳孔が開いたり閉じたりすることで、光の量を調節するようにカメラも撮影場所に合わせ写真が明るすぎたり暗すぎたりないように光の量を調整してくれます。

#### 色合いを自動調節

写真が赤すぎたり青すぎたりしないように、自動で色合いを調節してくれます。この機能はデジタルカメラ特有の機能となります。

#### フラッシュの自動設定

カメラに内蔵されているフラッシュを発光するか発光しないかといった設定や、発光する場合の光の量を調節してくれます。

※オートモードで撮影した写真の明るさや色合いと異なった場合は、本ソフトウェアの補正機能でお好みの明るさ・色合いに調整してみましょう。

## 正しい構え方を覚えよう



### 【正しい構え方】

脇をしめ両手でしっかり持ち、指がフラッシュやその他センサーを覆わないように注意しましょう。

正しいカメラの構え方は、写りを悪くする要因となる「ブレ」を防ぐためにとても大切なポイントとなります。

本体の小さいカメラは特にぶれやすいので、両手で持って撮るようにすることを心がけましょう。

また初心者にとって“ありがち”なのが、シャッターを押す右手人差し指に力が入りすぎて、押した瞬間に右に傾いて「ブレ」を起こしてしまうケースです。「シャッターボタンを押すのは指だけ」と意識して、優しく押し込んでください。



### 【ブレる可能性が高い構え方】

片手で持ち不安定な状態ではブレてしまう可能性が大きいです。



### 【シャッターを押す時の注意】

シャッターを押す腕に力が入りすぎてしまうと、カメラが右に傾きながら動いてしまい、ブレてしまう要因となります。

## ブレてしまった場合の比較写真



### 【作例 A：ブレのない写真】

くっきり鮮明に写っています。



### 【作例 B：ブレてしまっている写真】

ブレてしまったことで生じる残像により、ボケてしまっています。

## シャッターの『半押し』でピントを合わせよう

多くのカメラのシャッターボタンは、2段階のスイッチ構造となっています。ボタンを軽く押すことを「半押し」といい、さらに強く押し込むことを「リリース（全押し）」といいます。いわゆる一般的な「シャッターを切る（押す）」動作を示すのが、「リリース」に相当します。では、「半押し」とはどのような意味を持つのでしょうか？

「半押し」とは、カメラのオートフォーカス（自動ピント\*合わせ）機能を使って、写真のピントを画面内のどこに合わせるかを決定するための操作のことをいいます。

まずはカメラの液晶画面を見ながら、写したい人（物）を画面内の中央に配置し、「半押し」することでピントを合わせます。次にそのままシャッターの「半押し」を続けながら、おさまりの良い構図（次ページ参照）までカメラ位置を微調整し、「リリース（全押し）」することで、撮影者の意図通りのピントで写真を撮ることが出来ます。



ちなみに最新のカメラにおいては、人物の写真を撮る場合に自動で画面内の「顔」を判別しピントを合わせてくれる「顔認識機能」や、液晶画面内のピントを合わせたい部分に直接タッチすることで「半押し」と同様な操作ができる機能を搭載した機種もあります。撮影者のもっとも使いやすい方法でピント合わせをされることをお勧めいたします。

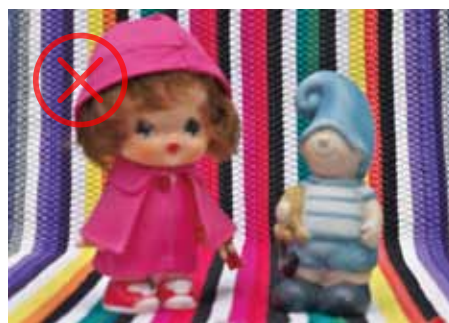
### \*ピントとは

ピントとはカメラのレンズにおける焦点のことです。

写したい人（物）にピントが合っていることで、鮮明に写すことができ、逆にピントが合っていないれば、ぼやけた描写となります。ピント合わせを失敗した写真を「ピンボケ」と呼びます。



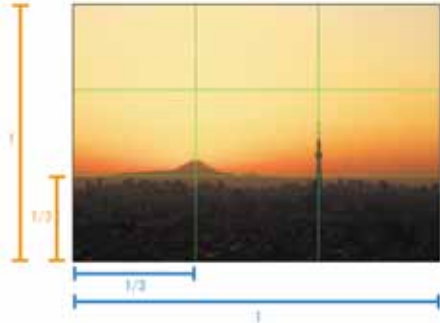
【作例 A】  
ピントが人形に合っていて、くっきりしています。



【作例 B】  
ピントが背景に合い、人形がピンボケしてしまっています。

## 構図（フレーミング）を意識しよう

構図とは、写真の仕上がりの効果を配慮した画面の構成のことを指します。簡単に言うと、被写体のバランスや配置取りなどをセンス良く構成するかということです。言葉で説明すると簡単なようでも、なかなか実践するのが難しく、いまひとつ撮った写真のバランスが良くない、格好良く撮ることができないと思われている方へ、構図を意識する上で参考となる「三分割法（さんぶんかつほう）」をご紹介します。



「三分割法」は、カメラ構図の中で最も基本的で、最も実用的な構図のひとつです。

縦横それぞれ 1/3 の線の上に背景線を置くか、この線の交点上に被写体を置くことで、構図としてバランスが良くなります。

### 三分割法実践 比較作例



【作例 A】  
カワセミを中央に配置した写真。



【作例 B】  
三分割法に則り、左下交点にカワセミ、下線上に枝を配置。カワセミの視線の先が広がり、バランスよくまとまった印象です。

# デジタル画像の解説

## デジタル画像の仕組み

デジタル画像は、ピクセル (Pixel, dot とも言う) と呼ばれる細かい四角形が集まって構成されています。ピクセルの1つ1つには色の情報が記録されており、すべてが組み合い1枚の画像となります。



## 画素ってなに？

デジタルカメラを購入するときに1200万画素、1400万画素という言葉を目にすると思います。画素とは画像を構成するピクセルの数を示しています。1200万画素とは1枚の画像に1200万個のピクセルを敷き詰めた画像を表示できるということになります。

画素数が高いほど画像は鮮明ですが、ファイル容量は大きくなります。

### 画素の計算方法

画素は画像の[横のピクセル数]×[縦のピクセル数]で計算することができます。

例.  $4000 \times 3000 = 1200$  万画素

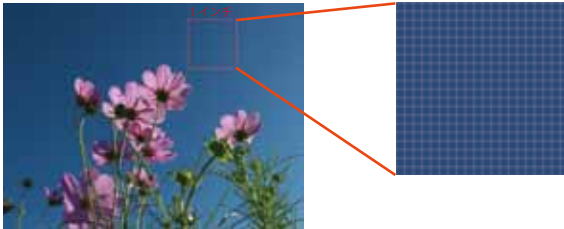
縦 3000 ピクセル



横 4000 ピクセル

## DPIってなに？

DPIとは dot per inch の略で、1 インチ (約 2.5cm) あたりのドット (点) の数を表し、コンピュータ上で用いる画像データの精度を表す単位として用いられています。またディスプレイの表示やプリンタの印刷の詳細さを示す解像度としても用いられます。この数字が大きいほど1インチ中のドット (点) の密度が高いことを示しており、画像をより詳細に表現することができます。



1 インチ (2.54cm) の幅に 20 ドット並んでいると仮定した場合、20dpi となります。

## 解像度変換とは

解像度変換とはデジタル画像のサイズを拡大／縮小することを言います。拡大とはピクセルを増やして画像の縦横のサイズを大きくすることで、逆に縮小とはピクセルを減らして画像のサイズを小さくすることです。

縮小は、画像の色情報を減らしファイル容量を小さくすることができるので、ホームページ用の画像を作成するときや、メール添付用の画像を作成するときに便利です。

※解像度変換は、基本的には画像サイズを小さくすることを目的としてご活用ください。解像度を大きくすると画質は粗く、ファイル容量は大きくなってしまいます。



横 1000 ピクセル×縦 750 ピクセル



横 500 ピクセル×縦 375 ピクセル

## 用途別解像度一覧表

| ピクセル数     | 総画素数   | 用途     |
|-----------|--------|--------|
| 160×120   | 2万画素   | Web掲載用 |
| 320×240   | 8万画素   | メール送信用 |
| 640×480   | 30万画素  | 学級通信用  |
| 1024×768  | 80万画素  | プレゼン用  |
| 1600×1200 | 200万画素 | L版     |
| 3440×2580 | 900万画素 | A4     |

## 保存形式一覧表

| ファイル形式 | 拡張子           | 説明   |
|--------|---------------|--|
| BMP    | .bmp          | Windowsが標準でサポートしている画像形式です。白黒(2値)の画像からフルカラー(1677万7216色)までの色数を指定でき、基本的には無圧縮で画像を保存します。  |
| JPEG   | .jpg<br>.jpeg | JPGまたはJPEG形式は、Joint Photographic Experts Groupという名の形式です。厳密に言えば、JPEGはファイル形式ではなく、圧縮アルゴリズムの種類に属します。JPEGのフォーマットはJFIF (JPEG File Interchange Format [8])で、この形式に準拠したファイルを通常“JPGファイル”といいます。 |
| GIF    | .gif          | 256色までの画像を保存することができ、JPEGが苦手なイラストやアイコンなどの保存に向いています。動画を保存できるアニメーションGIFや、透明色を指定して背景イメージと重ね合わせることができるトランスパレントGIF、全体をダウンロードしなくてもイメージの確認ができるインターレースGIFなどの拡張仕様があります。                        |
| PNG    | .png          | JPEGやGIFに代わってWWW上で広く使われることを目指して開発されました。これはファイル圧縮フォーマットのZipなどでも採用されている方式で、LZ77とハフマン符号化の2段階の圧縮を行なう方式です。  |
| TIF    | .tif          | TIFFは非圧縮が基本で、1枚の画像データを解像度や色数、符号化方式の異なるいろいろな形式で一つのファイルにまとめて格納でき比較的アプリケーションソフトに依存しない画像フォーマットとなっています。   |
| AVI    | .AVI          | Windowsの標準的なビデオファイルを扱うための標準的形式のことです。様々な形式によってエンコードされているので、再生するためには個々の形式にあったコーデックが必要となります。  |
| IPS    | .ips          | デジターピクチャーワールド作品[はがき]用独自形式で、作成中の[はがき]を再編集することができます。   |
| INC    | .inc          | デジターピクチャーワールド作品[名刺]用独自形式で、作成中の[名刺]を再編集することができます。   |
| ILY    | .ily          | デジターピクチャーワールド作品[ポスター]用独自形式で、作成中の[ポスター]を再編集することができます。   |
| IBN    | .ibn          | デジターピクチャーワールド作品[ミニアルバム]用独自形式で、作成中の[ミニアルバム]を再編集することができます。   |
| ICL    | .icl          | デジターピクチャーワールド作品[カレンダー]用独自形式で、作成中の[カレンダー]を再編集することができます。   |
| IDM    | .idm          | デジターピクチャーワールド作品[アニメーション]用独自形式で、作成中の[アニメーション]を再編集することができます。   |

## 2. ツール解説

### ペンの種類

ペン



絵の具



クレヨン



蛍光ペン



金ぞくペン



ふち取りペン



虹のペン



### 補正の種類

明るさ / コントラスト



ホワイトバランス



逆光補正



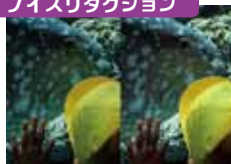
色相 / 彩度



トーンカーブ



ノイズリダクション



シャープ



ぼかし



コピー修正



赤目補正



## フィルタの種類

モノクロ



セピア



網点



白地図



絵画調



輪郭線



クロスフォーカス



デッサン



モザイク



レリーフ



ぼかし



シャープ



メタル



ネガポジ反転



ぬり絵



手ぶれ



ステンドグラス



拡散



放射



レンズ



レンズフレア



ソフトフォーカス



正方分解



波紋



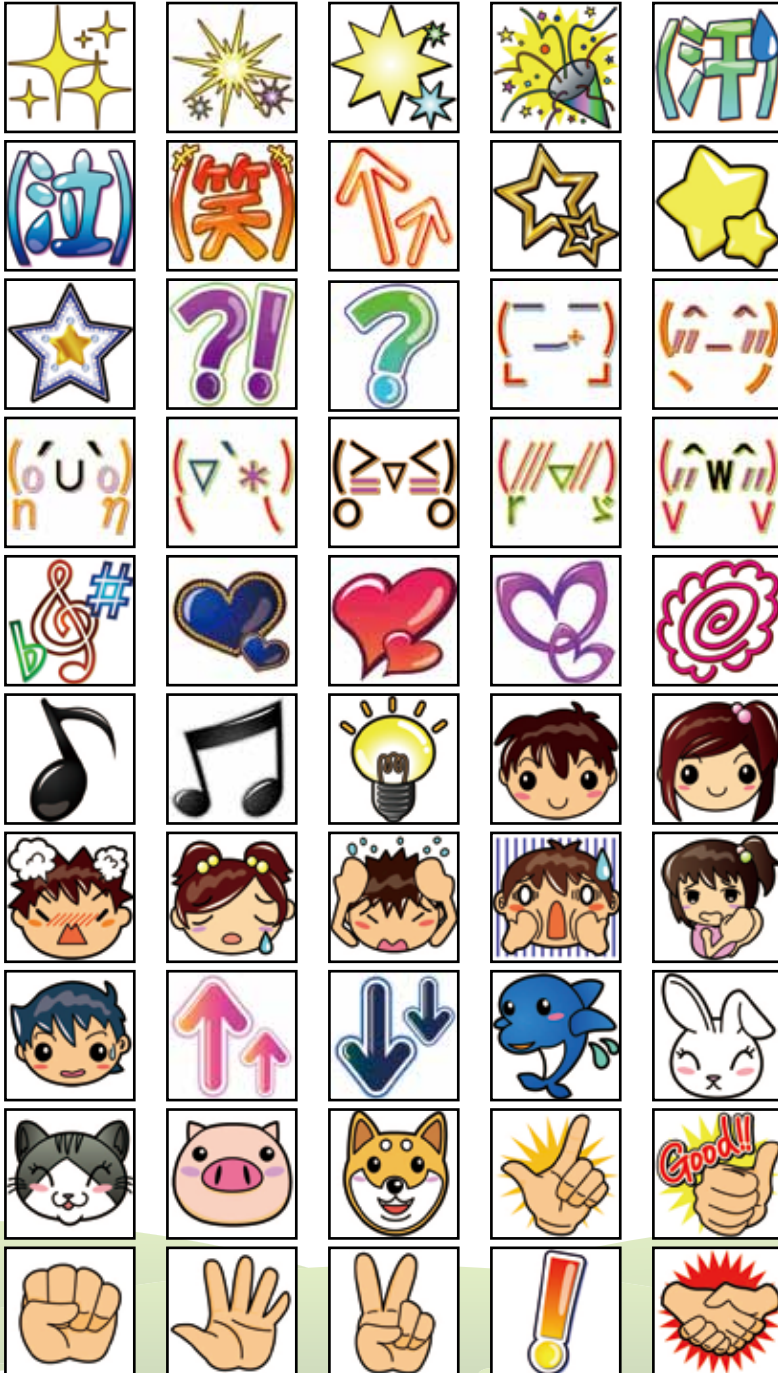
雨



水面



# スタンプの種類









# フレームの種類



第5章 作品の組み立て方



# 3. 作品の組み立て方

## ミニアルバムの組み立て方

ここでは、印刷後のミニアルバムの作成方法をご案内します。

- ① 紙を切る前に、それぞれの線を折り曲げて、しっかりと折り目をつけます。



- ② 用紙を切り抜き、さらに線の指示線にしたがって切り込みを入れます。



- ③ 表紙ののりしろ部分と、各ページを折ります。



- ④ 表紙の耳の部分のをり付けして、表紙を完成させます。



- ⑤ ページとページの裏側を全てのり付けします。



- ⑥ 表紙の裏側に、最初のページと最後のページの裏側を貼り合わせます。



- ⑦ 完成です。



## さいころの組み立て方

ここでは、印刷後のさいころの作成方法をご案内します。

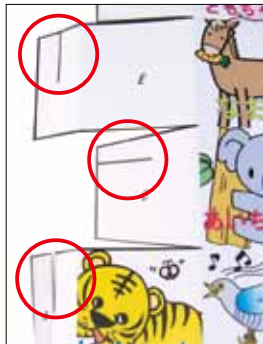
- ① 紙を切る前に、a-c、b-d、e-g、h-fの縦4本と、それぞれの面の間の線を折り曲げて、しっかりと折り目を付けます。



- ② さいころをテンプレートから切り抜きます。



- ③ A、C、E面の太線に沿って切り込みを入れます。



- ④ 同様にB、D、F面の太線に沿って切り込みを入れます。



- ⑤ AとC、BとDの切込みを差し込んで合わせます。



- ⑥ EとFの切れ目を差し込んで合わせます。



- ⑦ AとCで出来た袋へHを、BとDで出来た袋へGを、更にIの部分を箱に蓋をするように同時に差し込みます。



- ⑧ 出来上がりです。

